平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
日本語スキルズ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　１	前・後	大崎富雄

科目概要

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成するとともに、伝え合う力を高め、思考力を伸ばし、最終的には自分自身の考えを広げ深め、理想とするありかたを文章化することができる「言語感覚」を磨く。必要な情報を効果的に伝えることを目標として発表し、進んで表現する姿勢を身に付ける。さらには、社会生活に役立つ表現力、理解力と社会生活を充実させる態度を身に付ける。

キーワード：

教科書	参考書	関連する科目・資格
なし。必要に応じプリントを配布		科目：国語Ⅰ、国語Ⅱ、国語Ⅲ 資格：日本語検定

評価方法

評価項目	%	
期末試験	５０	成績は小論文を中心に学習態度・出席状況を総合的に判断して評価する。
中間試験	３０	
学習態度	１０	
出席状況	１０	
合計	１００	

受講上のアドバイス

①文章の構成法を理解することができる。
②文章の論理展開法を理解することができる。
③課題文に対する批判的検討から始め、最終的には自分自身の考えを広げ深め、理想とするあり方を文章化できる。

関連する本校の学習・教育目標	A
問い合わせ・質問先	1階104室（教員室）

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第 １ 週	ガイダンス	1年間の指導方針	
	第 ２ 週	文章とは何か（Ⅰ）	思考の伝達方法について理解できる。	
	第 ３ 週	文章とは何か（Ⅱ）	思考の伝達方法・文章の目的ついて理解できる。	
	第 ４ 週	文章構成（Ⅰ）	三段型（序論・本論・結論）について理解できる。	
	第 ５ 週	文章構成（Ⅱ）	四段型（起・承・転・結）について理解できる。	
	第 ６ 週	論理展開（Ⅰ）	類推法について理解できる。	
	第 ７ 週	論理展開（Ⅱ）	帰納法について理解できる。	
	第 ８ 週	論理展開（Ⅲ）	演繹法について理解できる。	
	－	前学期中間試験	（試験）	－
	第 ９ 週	論理展開（Ⅳ）	アブダクションについて理解できる。	
	第１０週	修辞技法（Ⅰ）	比喩・逆接・引用・強調などについて理解できる。	
	第１１週	修辞技法（Ⅱ）	比喩・逆接・引用・強調などについて理解できる。	
	第１２週	修辞技法（Ⅲ）	比喩・逆接・引用・強調などについて理解できる。	
	第１３週	記述技法（Ⅰ）	原稿用紙を中心にした使い方を理解できる。	
	第１４週	記述技法（Ⅱ）	推敲の方法について理解できる。	
	－	前学期末試験	（試験）	－
	第１５週	自己点検	答案返却・解説および自己点検	
後学期	第１６週	小論文（Ⅰ）	小論文の方法について理解できる。	
	第１７週	小論文（Ⅱ）	小論文の方法について理解できる。	
	第１８週	小論文（Ⅲ）	小論文の方法について理解できる。	
	第１９週	小論文演習（Ⅰ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	
	第２０週	小論文演習（Ⅱ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	
	第２１週	小論文演習（Ⅲ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	
	第２２週	小論文演習（Ⅳ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	
	第２３週	小論文演習（Ⅴ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	
	－	後学期中間試験	（試験）	－
	第２４週	文章の読解（Ⅰ）	文章の読解の方法について理解できる。	
	第２５週	文章の読解（Ⅱ）	文章の読解の方法について理解できる。	
	第２６週	文章の読解（Ⅲ）	文章の読解の方法について理解できる。	
	第２７週	小論文演習（Ⅵ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	
	第２８週	小論文演習（Ⅶ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	
	第２９週	小論文演習（Ⅷ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	
	第３０週	小論文演習（Ⅸ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	
	－	後学期末試験	（試験）	－
	第３１週	自己点検自己評価	年間の授業と修学成果について、自己点検評価する。	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
社会科学Ⅱ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修　2	前・後	野木邦夫

科目概要

現代の世界や日本の地域で生起する様々な事象や問題（課題）をグローバルに捉えるとともに、地域の視点から考察する方法を身につける。地域の生活、産業、環境の問題点などの背景には、自然、技術とそれを活用する人間の問題がある。学生が工業系であることを考慮し、できるだけ技術の問題に触れ、社会に出てから現実の課題の解決に少しでも役立つように、生きた知識や論理的な考え方を養うことを目的とする。

キーワード：　地理的視野の拡大，自然災害，領土問題と民族問題，エネルギー問題，環境問題

教科書	参考書	関連する科目・資格
①自作プリント	①随時、参考文献を紹介する	科目：社会科学Ｉ 資格：

評価方法

評価項目	%
中間試験	４０
期末試験	４０
学習態度	１５
出席状況	5
合計	１００

中間試験、期末試験によって到達度を量るが、成績は学習態度、出席状況を加味し、総合的に評価する。学習態度、出席状況は不良のものについて減点していく。年に数回のノート提出を課し、学習態度の一部として評価する。学年末の評価は各学期の成績合計の平均とする。

受講上のアドバイス

①ノートはしっかりととり、自己の学習に利用すること。
②わからないこと、興味を持ったことがあれば（授業中・授業外とも）気軽に質問すること。
③身近なテーマであるから、少しでも興味をもって学習すること。
④日々、新聞やニュースに目を向けるように心がけること。

関連する本校の学習・教育目標	A
問い合わせ・質問先	教務室（宮野）

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	世界的視野の拡大と世界像の変遷	世界・日本における地理的視野の拡大が理解できる。	
	第２週			
	第３週			
	第４週	自然災害	自然災害の種類とその防災方法について理解できる。	
	第５週			
	第６週	国家・国家の領域	国家・国家の領域・国境とは何かが理解できる。	
	第７週	領土問題	世界・日本の領土問題の原因・経緯について理解できる。	
	第８週			
	－	**前学期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	国家間のむすびつき	国家間の結びつきについて、意義と内容が理解できる。	
	第１０週			
	第１１週	人種と民族	人種と民族の違いについて理解できる。	
	第１２週	民族と宗教	宗教の特徴と信仰について理解できる。	
	第１３週	民族問題	世界・日本の民族問題の原因・経緯を理解について理解できる。	
	第１４週			
	－	**前学期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検 工業の発達と立地条件	答案返却・解説および自己点検。 工業の発達と立地条件について理解できる。	
後学期	第１６週	世界の工業	世界の工業の特徴について理解できる。	
	第１７週			
	第１８週	鉱産資源の利用	鉱産資源の種類と生産・消費について理解できる。	
	第１９週			
	第２０週			
	第２１週	エネルギー利用の現状と課題	世界・日本のエネルギー利用の現状と課題が理解できる。	
	第２２週			
	第２３週			
	－	**後学期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	地域開発	世界・日本の地域開発の現状と課題について理解できる。	
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週	環境問題と環境保全	世界・日本の環境問題の原因と、環境保全の取り組みについて理解できる。	
	第２８週			
	第２９週			
	第３０週			
	－	**後学期末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	答案返却・解説および自己点検。	－

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
文化・芸術・思想Ⅱ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修　2	前・後	小髙有普

科目概要

文化・芸術を通し、ものつくりの思想について考え、それらを踏まえて新しい創造をすることを習得する。発想の原点であるモノとコトを考え発想・意思決定する力を身につけると同時にものつくりのプロセスを手を使いながら習得する。
発想するために石川の文化・芸術を基に歴史と現状調査を経て、テーマを基にアイデア展開し、ペーパーモデルとして表現する。個々の発想したものは、最終的にパネルとしてまとめあげる。

キーワード：　エンジニアリングデザイン、デザインシンキング、商品プロセス

教科書	参考書	関連する科目・資格
なし。必要に応じプリントを配布	なし	科目： 資格：

評価方法

評価項目	%
演習課題	２０
成果課題	２５
作品	４０
学習態度	１５
合計	１００

1．文化・芸術を形にする①②を演習課題として評価する。
2．最終モデルを成果課題として評価する。
3．パネルを作品として評価する。
4．提出なき課題は無評価とする。

受講上のアドバイス

・発想法
　発想の仕方について相談があれば授業中にアドバイスし、解決する。

・モデル
　授業中にモデル作成に対しての相談があればアドバイスし、解決する。

・アウトプット
　パネル作成に対してのグラフィックアドバイスをし、解決していく。
パネル作成ソフトの質問に対し説明、解決する。

関連する本校の学習・教育目標	B
問い合わせ・質問先	２階209室小髙まで

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前期	第 １ 週	身近な文化・芸術について	文化・芸術・思想についてのオリエンテーション	
	第 ２ 週	調査①	課題についての調査をする	
	第 ３ 週	調査②	調査①を踏まえ再調査をする	
	第 ４ 週	調査まとめ	調査をまとめる	
	第 ５ 週	発表	調査内容を発表する	
	第 ６ 週	文化・芸術を形にする①	課題テーマについてアイデア出しをする	
	第 ７ 週	文化・芸術を形にする①	アイデアをまとめる	
	第 ８ 週	文化・芸術を形にする①	アイデアを形にする①	
	ー			ー
	第 ９ 週	文化・芸術を形にする①	アイデアを形にする②	
	第１０週	発表	アイデアを発表し、改善案を話し合う。	
	第１１週	文化・芸術を形にする②	個々のモデルを改善する①	
	第１２週	文化・芸術を形にする②	個々のモデルを改善する②	
	第１３週	文化・芸術を形にする③	新たな課題をペーパーモデルで作る①	
	第１４週	文化・芸術を形にする③	新たな課題をペーパーモデルで作る②	
	ー			ー
	第１５週	自己点検	今までの課題内容のプロセスチェック	
後期	第１６週	文化・芸術を形にする③	新たな課題をペーパーモデルで作る③	
	第１７週	色彩学	色彩を理解する	
	第１８週	パソコン基礎演習①	グラフィックソフトの基礎を習得する①	
	第１９週	パソコン基礎演習②	グラフィックソフトの基礎を習得する②	
	第２０週	パソコン基礎演習③	グラフィックソフトの基礎を習得する③	
	第２１週	パソコン基礎演習④	グラフィックソフトの基礎を習得する④	
	第２２週	パソコン基礎演習⑤	課題を参考に画像データ処理を習得する	
	第２３週	パソコン基礎演習⑥	課題を参考にレイアウトの仕方を習得する	
	ー			ー
	第２４週	パネル作成	文字校正、写真レイアウト検討	
	第２５週	パネル作成	パネルに展開する。レイアウト検討	
	第２６週	パネル作成	パネルデータ化作業①	
	第２７週	パネル作成	パネルデータ化作業②	
	第２８週	パネル作成	パネルデータ化作業③	
	第２９週	パネル作成	データを出力し、パネルにする	
	第３０週	成果発表	作品をプレゼンする	
	ー			ー
	第３１週	自己点検自己評価	授業と修学成果を自己点検する。	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
保健体育Ⅳ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修２	前・後	瀧本明弘

科目概要

・体力テスト(背筋力、握力、反復横跳び、垂直跳び、伏臥上体そらし、長座体前屈、踏み台昇降運動)
・ソフトボール(キャッチボール、トスバッティング、ピッチング、フリーバッティング、連係プレー、ゲーム)
・テニス(ストローク、サーブ、ボレー、スマッシュ、ゲーム)
・バドミントン(試合の進め方、ルール、シングルス、ダブルス、ゲーム)

キーワード：　生涯スポーツ、体力、球技、ルール

教科書	参考書	関連する科目・資格
なし	アクティブスポーツ２０１１	科目：なし 資格：なし

評価方法

評価項目	%
実技試験	３０
レポート	１０
学習態度	３０
出席状況	３０
合計	１００

実技試験は、リーグ戦による成績の結果とする。
レポートは、1回提出する。課題は、「ソフトボールのルールについて」、「テニスのルールについて」、「バドミントンのルールについて」である。
学習態度は、協調性、ルール順守、服装、遅刻、見学等についてである。欠席は、出席状況より減点する。

受講上のアドバイス

1. 服装は、運動に適したものであること。
2. シューズは外履き、内履きの区別をすること。
3. 体調を整えて出席すること。
4. 向上心を持って出席すること。
5. 安全に留意すること。
6. スポーツの楽しさを理解すること。
7. 体育施設の配置、着替え所要時間を考慮し、授業時限開始10分後に出席点呼をとる。授業終了後の着替え時間を10分とする。

関連する本校の学習・教育目標	A
問い合わせ・質問先	31・104　第二体育館

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	オリエンテーション	保健体育Ⅳ全般について理解を深める	
	第２週	ソフトボール①	ソフトボールの用具について理解を深める	
	第３週	ソフトボール②	キャッチボール、捕球、トスバッティングが出来る	
	第４週	球技の練習	各種球技の理解を深める	
	第５週	ソフトボール③	ゴロの捕球、送球、ピッチングについて理解を深める	
	第６週	ソフトボール④	ゴロの捕球、送球、ピッチングができる	
	第７週	ソフトボール⑤	内外野の連係プレーについて理解を深める	
	第８週	ソフトボール⑥	内外野の連係プレーができる	
	－	前期中間試験	（試験）	－
	第９週	ソフトボール⑦	チームプレー、試合運営について理解を深める	
	第１０週	ソフトボール⑧	リーグ戦形式の対抗戦で、チームプレーができる	
	第１１週	テニス①	ラケットとボールの特性について理解を深める	
	第１２週	テニス②	グランドストロークについて理解を深める	
	第１３週	テニス③	バックハンドについて理解を深める	
	第１４週	テニス④	サーブについて理解を深める	
	－	前期末試験	（試験）	－
	第１５週	テニス⑤	ボレーについて理解を深める	
後学期	第１６週	テニス⑥	練習ゲームを通してルールを理解し試合運営ができる	
	第１７週	テニス⑦	リーグ戦を通して、これまでの学習内容を復習する	
	第１８週	テニス⑧	リーグ戦を通して、これまでの学習内容を復習する	
	第１９週	バドミントン①	シングルスの試合のルール及び進め方について理解を深める	
	第２０週	球技の練習	各種球技の理解を深める	
	第２１週	バドミントン②	シングルスの練習ゲームを通して技術向上を図る	
	第２２週	バドミントン③	シングルスのリーグ戦を通して技術を発揮できる	
	第２３週	バドミントン④	シングルスのリーグ戦を通して技術を発揮できる	
	－	後期中間試験	（試験）	－
	第２４週	バドミントン⑤	シングルスのリーグ戦を通して技術を発揮できる	
	第２５週	バドミントン⑥	ダブルスの試合のルール及び進め方について理解を深める	
	第２６週	バドミントン⑦	ダブルスの練習ゲームを通して技術向上を図る	
	第２７週	バドミントン⑧	ダブルスのリーグ戦を通して技術を発揮できる	
	第２８週	バドミントン⑨	ダブルスのリーグ戦を通して技術を発揮できる	
	第２９週	バドミントン⑩	ダブルスのリーグ戦を通して技術を発揮できる	
	第３０週	体力測定	自分の体力を把握する	
	－	学年末試験	（試験）	－
	第３１週	自己点検自己評価	1年間の授業について振り返り理解を深める	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
英語表現技法			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修　2	前・後	宇都宮隆子

科目概要

今まで学んできた英文法や英文構造に関する知識を整理しつつ、英語の句読法についても再度確認していく。語と語、語句と語句、文と文の接続法を学び、より自然な英語の文体を書くことを学習する。英語のライティングを、センテンスレベルからパラグラフレベル、さらにはエッセーレベルに持っていくことを目標とする。パラグラフライティングを学ぶ際、パラグラフ構成の元となるトピックセンテンス、サポートセンテンス、コンクルードセンテンスの書き方も学ぶ。

キーワード：　英文法、英文構造、トピック・サポート・コンクルードセンテンス、パラグラフ

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「Get Ready To Write: A First Composition Text」Karen Blanchard・Christine Root, Pearson Longman	①英和・和英辞書	科目：英語科目全般 資格：TOEIC Speaking/Writing Tests

評価方法

評価項目	%
期末試験	５０
小テスト	１０
英作文課題	３０
学習態度	１０
合計	１００

期末試験：前期・後期末にそれぞれ実施する。各単元のターゲット英文法、語彙を含め、時間内にいかに効率よくパラグラフライティングが書けるかを確認する。

小テスト：各単元で学習する文法、語彙、パラグラフ構成の理解度を測るために実施する。前期・後期を通して計１０回の小テストを実施する。

英作文課題：[パラグラフ・ライティング] 各単元に関連するトピックについての練習を行う。
[Email] 前期２回、後期３回。与えられたトピックに関して英文メールを作成。

学習態度：辞書を使っているか。クラスメイトとのトピックに関する意見交換ができるか。
また、パラグラフライティングの学習過程における積極性も見る。もちろん、遅刻、忘れ物、授業中の居眠りに関しては随時減点。

受講上のアドバイス

辞書の利用：使いこなせる英語の語彙・表現には限りがある。辞書の活用を心がけること。

熟考：様々なトピックに対し、常に自分の意見を持つようする。また同時に、その考えを掘り下げること。
なぜそのような意見を持つように至ったかを、自身で考える習慣つける。

構成：考えがうまくまとめられているライティングは、内容に首尾一貫性があり、読み手に自分の考えが伝わりやすい。
テキストのconnecting wordsをしっかりと学習し、パラグラフの構成にも気を配りながらライティングを進めること。

関連する本校の学習・教育目標	C
問い合わせ・質問先	１階１０３室（教員室）

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	Chapter 1 ①	パラグラフの形式を理解し、自己紹介文を作成できる。	
	第２週	Chapter 1 ②	be動詞と一般動詞の違いを理解し、人物紹介文を作成できる	
	第３週	Chapter 2 ①	家族に関する語彙、代名詞を用いて家族の紹介文を作成できる。	
	第４週	Chapter 2 ②	接続詞、性格表す語を用いて友人についての作文を作成できる。	
	第５週	Chapter 2 ③	未来の家族についての作文を作成できる。	
	第６週	Chapter 3 ①	趣味を表す語彙や現在形を用い、主語書き換え文を作成できる。	
	第７週	Chapter 3 ②	自分の趣味や休みの過ごし方の作文を作成することができる。	
	第８週	Chapter 3 ③	運動、健康に関する作文を作成できる。	
	－			－
	第９週	Chapter 4 ①	適切な前置詞・副詞を使い、時系列通り並び替えることができる。	
	第１０週	Chapter 4 ②	順序を表す文章の主語書き換え文を作成することができる。	
	第１１週	Chapter 4 ③	自分の一日の行動に関する作文を作成することができる。	
	第１２週	Chapter 5 ①	人物描写に使う形容詞を用いて文を作成することができる。	
	第１３週	Chapter 5 ②	サポートセンテンスを理解し、人物描写の文を作成できる。	
	第１４週	Chapter 5 ③	人物表現の語彙を用いて自分の性格を表す作文を作成できる。	
	－	前学期末試験	（試験）	－
	第１５週	自己点検・Chapter 5 ④	答案返却および解説・特産品の描写作文が作成できる。	
後学期	第１６週	Chapter 6 ①	場所を描写する形容詞、前置詞を用いた文章を作成できる。	
	第１７週	Chapter 6 ②	場所を表す前置詞を用いて自分の部屋を表す作文を作成できる。	
	第１８週	Chapter 6 ③	場所を描写する語彙を用いて、故郷についての文を作成できる。	
	第１９週	Chapter 7 ①	指示・順序を表す語句、名詞を含む作文を作成できる。	
	第２０週	Chapter 7 ②	指示、順序を含む作文を作成できる。	
	第２１週	Chapter 8 ①	ナレーションの流れにそった文章の並び替えができる。	
	第２２週	Chapter 8 ②	過去形、時間の流れを表す表現を用いた作文が作成できる。	
	第２３週	Chapter 8 ③	自分の思い出を作文として作成できる。	
	－			－
	第２４週	Chapter 8 ④	自分の思い出を作文として作成できる。	
	第２５週	Chapter 9 ①	自分の意見をサポートする英文構成を理解し書くことができる。	
	第２６週	Chapter 9 ②	because副詞節を用い、自分の意見を述べる作文を作成できる。	
	第２７週	Chapter 9 ③	英文に首尾一貫性を持たせながらパラグラフを作成できる。	
	第２８週	From Paragraph to Essay	パラグラフとエッセイの違いを理解できる。	
	第２９週	エッセイ作成	主題の役割、エッセイの構成要素について理解することができる。	
	第３０週	エッセイ作成	自身で選んだ主題についてエッセイを書くことができる。	
	－	後学期末試験	（試験）	－
	第３１週	自己点検自己評価	年間の授業と修学成果について自己評価する。	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
総合英語Ⅳ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修　2	前・後	大原しのぶ

科目概要

日本人教員による授業。英語で書かれたなぞなぞ、パズル、ジョーク、世界ランキング、心理クイズ、バースデーカード、などを教材にその内容把握とそこで使用されている単語を語源に注目しながら学び、それらと同じ語源を持つ単語を出し合うことで語彙力アップを図る。また様々な題材から日本との文化の違いを学習する。

キーワード：　単語、語源、語彙力、文化

教科書	参考書	関連する科目・資格
ハンドアウト	①「語源耳」，ホリム・ハン、松澤喜好，アスキー・メディアワークス	科目： 資格：

評価方法

評価項目	%
定期試験	５０
小テスト	３０
提出物	１５
授業態度	5
合計	１００

・小テストは毎週行う単語テストとする。
・提出物は４週間ごとの英作文とする。
・授業態度は居眠りも含み、５%以上の減点もある。

受講上のアドバイス

・題材が、心理クイズやパズル、なぞなぞなど楽しめる内容なので、興味を持って英語に接して下さい。
・語源の説明の時は、各自のイマジネーションを最大限に活用して語彙力アップに努めて下さい。
・学習した単語は意味だけでなく、その単語を使って英作出来る位まで使いこなすことを意識して下さい。

関連する本校の学習・教育目標	C
問い合わせ・質問先	１階教員室（１０３室）

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	授業概要、語源の説明	語源の内容を理解する。	
	第２週	英語で書かれた心理クイズの内容を理解し、回答する。 語源の説明。	vis,vid,view,vey(＝見る,視)を含む単語を理解し習得する。	
	第３週		voc(＝呼ぶ、声)を含む単語を理解し習得する。	
	第４週		dic,dict(＝言う、言)を含む単語を理解し習得する。	
	第５週		spect(＝見る、見)を含む単語を理解し習得する。	
	第６週	４週間分の復習	既習の単語の定着を図り、習った単語を使用して英作する。	
	第７週	英語で書かれたなぞなぞを理解し、回答する。 語源の説明。	log(＝言葉、言)を含む単語を理解し習得する。	
	第８週		manu,man(＝手、手段)を含む単語を理解し習得する。	
	－			－
	第９週	英語で書かれたジョークを理解する。 語源の説明。	cap,chief(＝かしら、頭)を含む単語を理解し習得する。	
	第１０週		cor,cord(＝心臓、心、中心)を含む単語を理解し習得する。	
	第１１週	４週間分の復習	既習の単語の定着を図り、習った単語を使用して英作する。	
	第１２週	英語で書かれたパズルの内容を理解し、解く。 語源の説明。	ment,mon,min(＝心、記憶、思い)を含む単語を理解し習得する。	
	第１３週		cap(＝取る、握る、持つ)を含む単語を理解し習得する。	
	第１４週	前期末テスト対策	前期学習範囲の理解。	
	－	**前期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	答案返却・解説および自己点検。	
後学期	第１６週	英語で書かれたLogical Puzzleの内容を理解し、回答する。 語源の説明。	act(＝行う)を含む単語を理解し習得する。	
	第１７週		mov,mot,mob,mo(＝動く、動)を含む単語を理解し習得する。	
	第１８週	４週間分の復習	既習の単語の定着を図り、習った単語を使用して英作する。	
	第１９週	英語で書かれた世界ランキングの内容を理解し、回答する。 語源の説明。	ven,vent(＝来る)を含む単語を理解し習得する。	
	第２０週		cede,ceed,cess(＝行く)を含む単語を理解し習得する。	
	第２１週		cept(＝取る、受ける)を含む単語を理解し習得する。	
	第２２週		se,sect,seg(＝分ける、切り離す)を含む単語を理解し習得する。	
	第２３週	４週間分の復習	既習の単語の定着を図り、習った単語を使用して英作する。	
	－			－
	第２４週	英語で書かれたクロスワードパズルを理解し、回答する。 語源の説明。	tain(＝保つ)を含む単語を理解し習得する。	
	第２５週		fac,fec,fic(＝作る)を含む単語を理解し習得する。	
	第２６週	英語で書かれたバースデーカードの内容を理解する。 語源の説明。	sta(＝立っている、立ち続ける)を含む単語を理解し習得する。	
	第２７週		sist(＝立ちあがる、立たせる)を含む単語を理解し習得する。	
	第２８週	４週間分の復習	既習の単語の定着を図り、習った単語を使用して英作する。	
	第２９週	英語で書かれた迷信の理解と語源	ject(＝投げる)を含む単語を理解し習得する。	
	第３０週	前期末テスト対策	前期学習範囲の理解。	
	－	**学年末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	答案返却・解説および自己点検。	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

Learning Support Plan（2012）

Course			Class
4th year Advanced English (CLE²)			4th Year Global Information Technology
Required or Elective	**Credits**	**Semesters**	Instructor **担当教員**
Elective	履修 4	1 & 2	Sarah Forbes & Nathan Lurie

Course Overview

In this course, students will gain important professional and English skills that will help them in their future careers as engineers. The course will combine hands-on projects lead by KTC students at local Junior High Schools and in-class projects and activities to improve students' English communication, comprehension and teamwork skills. At the end of the course, they will be able to define what it means to be a global engineer, present projects/presentations in an engaging manner, and reflect and improve on their own and their classmates' work. They will also be able to write written reflections in paragraph form outlining their learning.

Keywords：teamwork, collaboration, project, engineering, constructive feedback, engage, reflection

Textbook	**Reference Materials**	**Related Subjects & Qualification Tests**
N/A	①Teacher Packet "Junior High School Projects" ②Hand-outs ③Online resources	Subjects： Qualification Tests：

Evaluation Method

Evaluation Percentage	**%**
Journals	20
In-class activities	20
Projects	40
Participation/ Attitude/Effort	20
Total	**100**

- Journals will be assessed for depth and length, and rewritten entries for grammar and spelling using a rubric.
- In-class activities will vary, being graded both by rubrics and through total questions/items completed.
- Projects will be evaluated using rubrics, rubrics high-light teamwork, effort, preparation, physical skills, and final products.
- Participation is graded from informal teacher observations throughout each semester, and communicated to students via rubric at the beginning of each semester.
- There will also be self-assessments of effort and assignment completion.

Advice from Instructor to Students for Class

- Be **on time** and **prepared**
- Be **responsible** and independent. You will have a lot of group projects, and you need to make sure you contribute to your group and make up missed work.
- **Ask questions** when you don't understand:
  "What do you mean?" "What should I do?" "Could you help me with this?"
- Be an active listener: make **eye contact** with the teacher, **respond** to class questions, and don't be afraid to **speak up**!
- **Support your classmates** by helping them understand assignments and concepts. Give encouragement and helpful advice to classmates.
- Enjoy yourself, **have fun** with learning!

Course Objectives	C
Office	KTC 31-103

Class No. _____ Name _____

	Week	Contents	Achievement Goals	Check
1st Semester	**Week 1**	Syllabus & Introductions	Introductions, team building activities, syllabus information hunt	
	Week 2	The Big Ideas & Weekly Journals	Why is engineering important? Why is English important? Discussion and introduction to journals	
	Week 3	Junior High School Projects	Introduction to the projects and KWL chart/ Weekly Journal	
	Week 4	Project Component: Hook	Forces and shapes project & choosing a good project hook / Weekly Journal	
	Week 5	Project Component: Prototype	Hands-on project to explain energy and prototypes & green energy extension/ Weekly Journal	
	Week 6	Project Component: Procedure	How can we give effective instructions to a human robot? How about an audience of Junior High School students?	
	Week 7	Project Component: Wrap-up	Complete hands-on project with a focus on conclusions.	
	Week 8	Project Component: Planning	Complete a project with a focus on project plan writing.	
	—			—
	Week 9	Project Component: Reflecting on Learning	Focus on reflecting on project experience to improve on project and learn from mistakes / Mini-lesson, English paragraphs	
	Week 10	Project Component: Exploring options.	Analyze various projects for their usability and interest levels	
	Week 11	Your Turn to Teach	Choose a "how-to" topic and prepare a lesson for your Classmates / Practice teaching language and techniques	
	Week 12	Junior High School (JHS) Projects	Determine project teams and choose projects/Introduce yourselves to the class	
	Week 13	JHS Projects: Review Concepts	Get into project teams and complete a review project jigsaw	
	Week 14	JHS Projects: Project Planning	Outline project plan: introduction, procedure and conclusion	
	—			—
	Week 15	Self-evaluation/JHS Planning	Work towards a more detailed first draft of project plan	
2nd Semester	**Week 16**	JHS Planning	Hand in drafts of project plans for review, meet with teachers about plans	
	Week 17	JHS Planning: Materials	Organize materials, write out key words for speaking parts, practice	
	Week 18	JHS Planning: Rehearsal	Begin intensive speaking practice with teammates	
	Week 19	JHS Planning: KTC Trial	Teach your project to 1st year KTC students for practice	
	Week 20	JHS Planning	Reflect on your trial run, adjust project plans	
	Week 21	JHS Planning	Final team practice	
	Week 22	JHS Visits	Visit a local junior high school and present your project!	
	Week 23	JHS Wrap-Up	Written reflections of learning on JHS projects	
	—			—
	Week 24	Introduction to Global Engineering	Complete activities to explore the meaning of "global engineer"	
	Week 25	Global Engineering Review	Review ideas of global engineering	
	Week 26	Global Engineering Project	Final project ideas and activities	
	Week 27	Global Engineering Project	Research and preparation	
	Week 28	Global Engineering Project	First drafts completed for review, begin note cards/practice	
	Week 29	Global Engineering Project	Revisions based on feedback, practice and rehearsal	
	Week 30	Global Engineering Expo	Open expo to teachers and classmates, present and host	
	—			—
	Week 31	Self-evaluation/Closing	Complete questionnaire about this course	

Check (Self-Evaluation) : I understand well. ← A B C D E → I don't understand at all.

Learning Support Plan（2012）

Course			Class
Advanced English I (Computer)			4th Year Global Information Technology
Required or Elective	**Credits**	**Semesters**	Instructor **担当教員**
Elective	4	1 & 2	Bruce Gaylord

Course Overview

In this class, students will complete Microsoft Word, Microsoft PowerPoint and Microsoft Excel English activities and projects using the English programs. Students will start each application with simple exercises and progress step-by-step through increasingly difficult activities and projects. They will learn to use English search engines. They will make and present a hands-on project both semesters. They will do interactive online English activities. They will be introduced to several online "student tools." They will make a personal English website.

Keywords：Word, PowerPoint, Excel, Internet, Search Engine, Hands-on, Email, Oral Presentation

Textbook	Reference Materials	Related Subjects & Qualification Tests
None	①Instructor-designed handouts, electronic documents and online resources.	Subjects： Qualification Tests：

Evaluation Method

Evaluation Percentage	%
Activities, Searches and Presentations	45
Projects	45
Participation and Attitude	10
Total	**100**

Evaluation methods include:

- Microsoft Word, PowerPoint and Excel activities and projects
- Hands-on projects
- Presentations
- Internet searches
- Web-based activities
- Website design
- Participation and attitude

Advice from Instructor to Students for Class

This is an English computer class and students are expected to try their best to communicate in English and they are expected to use the English operating system at all times.

Students should come to class with a positive attitude, ready to work to the best of their ability. Students are expected to finish assignments on time. If a student misses a class, he or she is expected to make up missed work. Students are encouraged to use a computer in the computer room after school to complete unfinished or missed activities.

Students must keep an up-to-date file and bring it and a pencil/pen to every class.

Course Objectives	C
Office	KTC 31-211

Class No. _____ Name _____

	Week	Contents	Achievement Goals	Check
1st SemesterW	**Week1**	Class syllabus, goals, mechanics	Student understands the syllabus and how class will be taught.	
	Week2	Introduction to MS Word	Student can use toolbars and icons; save and move a document Student can start a new document and input information. Student can complete assigned activity.	
	Week3	Word Activity		
	Week4	Introduction to Search Engines	Student can find information using an English search engine.	
	Week5	Word Project	Student work in a group to plan and complete a project.	
	Week6	Online Activity	Student can use educational, interactive online resources.	
	Week7	Hands-on Activity	Student can work in a group and plan and complete a project.	
	Week8	Introduction to MS Excel	Student can toolbars and icons and make a table and chart.	
	–			–
	Week9	Word Project	Student work in a group to plan and complete a project.	
	Week10	Word Project Presentation	Student can plan and present a project to classmates.	
	Week11	Word Project	Student can plan and complete a project.	
	Week12	Word Project		
	Week13	Online Tool Activity	Student can use educational on-line resources.	
	Week14	Search engine Activity	Student can find information using search engines.	
	–			–
	Week15	Self-evaluation		
	Week16	Introduction to MS PowerPoint	Student can use toolbars and icons; save and move a document Student can start a new presentation and input information.	
	Week17	PowerPoint Intro Activity		
	Week18	PowerPoint Activity	Student can complete assigned activity.	
	Week19	PowerPoint Project	Student work in a group to plan and complete a project.	
	Week20	Online Activity	Student can use educational, interactive online resources.	
	Week21	Hands-on Activity	Student can work in a group and plan and complete a project	
	Week22	PowerPoint Project	Student work in a group to plan and complete a project.	
	Week23	PowerPoint Project Presentation	Student can plan and present a project to classmates.	
	–			–
	Week24	Website Project	Student can research and design a personal website.	
	Week25	Website Project		
	Week26	Online Student Tool Activity	Student can use the User Interface and create content.	
	Week27	Activity		
	Week28	Online Student Tool Activity	Student can use the User Interface and create content.	
	Week29	Activity		
	Week30	Last day	School and teacher surveys.	
	–			–
	Week31	Self-evaluation/Closing		

Check (Self-Evaluation) : I understand well. ← A B C D E → I don't understand at all.

Learning Support Plan（2012）

Course			Class
Advanced English I (Conversation)			4th Year Global Information Technology
Required or Elective	**Credits**	**Semesters**	Instructor **担当教員**
Required	履修 3	1 & 2	Karina Lopez

Course Overview

This course is designed to give students many opportunities to listen to authentic English and to speak English through paired and small-group activities. Students can share their experiences, opinions and ideas with each other on a variety of interesting topics in order to improve fluency. Playing a number of TV game show-style games will provide fun fluency practice.

Keywords：English conversation course

Textbook	**Reference Materials**	**Related Subjects & Qualification Tests**
①*Let's Chat* John Pak EFL Press	①*Let's Chat* Class CD John Pak EFL Press	Subjects： Qualification Tests：

Evaluation Method

Evaluation Percentage	**%**
Quizzes / Tests	20
Class work	50
Participation	30
Total	**100**

Quizzes/ Tests: Written and/or oral vocabulary and grammar quizzes

Class work: Book work, project work, and most importantly, genuine interaction with classmates and teacher

Participation: Your contribution to a dynamic and positive classroom atmosphere (attendance, preparedness, effort, attitude, etc.)

Advice from Instructor to Students for Class

- Come on time and prepared for every class.
- Try to speak English and avoid using Japanese as much as you can.
- Work well with your classmates – help each other out.
- Ask a lot of questions to your classmates and teacher when you don't understand.
- Relax and have fun.
- If you are absent, please come see the teacher as soon as you return for make-up work.

Course Objectives	C
Office	KTC 31-103

Class No. _____ Name _____

	Week	Contents	Achievement Goals	Check
1st Semester	**Week 1**	Unit 1, Getting Acquainted	Orientation; Introducing someone; Family, Preferences, Favorites	
	Week 2	Unit 1, Getting Acquainted	TV game show, *To Tell the Truth*	
	Week 3	Unit 2, Experiences	Talking about experiences; Talking about the past, School life	
	Week 4	Unit 2, Experiences	Ghost stories; Original projects	
	Week 5	Unit 3, Sports & Leisure	Talking about sports and leisure activities; Sport rules	
	Week 6	Unit 3, Sports & Leisure	Comparative/Superlative Potato Chip Taste Test	
	Week 7	Unit 4, Shopping & Money	Borrow/ recommend,/differences; Numbers, Money & Time	
	Week 8	Unit 4, Shopping & Money	TV Game Show: *The Price is Right*	
	–			–
	Week 9	Unit 8, Work	Part-time jobs, career plans, Interviewing; Good/bad points jobs	
	Week 10	Unit 8, Work	Summer Internship Discussion, Design/exchange business cards	
	Week 11	Unit 7, Movies & Television	Describing movies (*based on*, *directed by*, *stars*, *theme song*, etc.)	
	Week 12	Unit 7, Movies & Television	Talking about television, genre Make Summertime Word Cloud Fan	
	Week 13	Welcome Back, Unit 11, Music/Books	Talking about music and books and your favorite music/artist	
	Week 14	Unit 11, Music & Books	Sharing favorite song or book	
	–			–
	Week 15	Self-evaluation	Review Games	
2nd Semester	**Week 16**	Unit 5, Food	Talking about food, Describing Japanese food, Hawaiian food	
	Week 17	Unit 5, Food	5 Main Tastes Blindfold Taste Test; Potluck luncheon	
	Week 18	Unit 6, Travel	Making travel plans, Checking into a hotel, Making a complaint	
	Week 19	Unit 6, Travel	Country activity	
	Week 20	Singapore	Talking about Singapore; Poster Presentations to classmates	
	Week 21	Singapore	Follow-up to Singapore Trip	
	Week 22	Unit 9, Health	Talking about health and lifestyle, Giving advice; Exercise/fitness	
	Week 23	Unit 9, Health	Public Service Posters	
	–			–
	Week 24	Unit 10, Love & Marriage	Talking about love and marriage; Describing people; Invitations	
	Week 25	Unit 10, Love & Marriage	Love song(s)	
	Week 26	Holiday Celebrations	Christmas Video	
	Week 27	Unit 12, Culture & Places in Japan	Talking about Japanese culture/Prefectures	
	Week 28	Unit 12, Culture & Places in Japan	Japanese Culture Presentation to foreigner(s) living in Japan	
	Week 29	Unit 14, Review	The Question Game; Original role-play	
	Week 30	Unit 14, Review	Present original role-play; Trivia Quiz Game;	
	–			–
	Week 31	Self-evaluation/Closing	Distractions Activity; Closing; Questionnaire	

Check (Self-Evaluation) : I understand well. ← A B C D E → I don't understand at all.

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
キャリアデザイン			グローバル情報工学科　4年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修　1	集中	館　宜伸

科目概要

企業が技術系人材に望む要件は、基礎学力・技術力を備えていることは勿論であるが、その上で自律的・創造的であり、さらにコミュニケーションを通じて自らの考えを効果的に伝えることができることである。
キャリアデザインでは、穴水湾自然学苑の静かな環境下において、修学などについて真剣に考え、明確に述べられるようにする。また、その過程を通じて、今後の進路を明確にするとともに、考える技術・書く技術・話す技術を学ぶ。

キーワード：　進路学習、キャリアデザイン

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「キャリアデザインノート」 ②　配布プリント	①「面接&エントリーシート」、高橋書店、坂本直文 ②	科目：インターンシップ 資格：秘書検定　３級，２級

評価方法

評価項目	%
提出物	60
態度	20
出席	20
合計	１００

下記の提出物について評価する。
聴講ノートⅠ～Ⅳ（各10点満点）、履歴書等（10点満点）、模擬面接（10点満点）。
（１）学校集合からはじまり、第２日目17時まで本授業に参加した者について成績を評価する。この条件を満たさないものはＦ評価とする。ただし、特段の理由があるものについては、別途判断する。
（２）上記の規定に関わらず、校則違反等により退苑を命ぜられた者の評価はＦとする。
（３）学習態度が不良な者については、その程度により減点する。減点が50を上回る場合もある。

受講上のアドバイス

本科目では、下記の事項について、研修し、将来の進路に活用する。
（１）進路（就職・進学）決定準備の重要性と必要性を認識する。
（２）進路決定に際し、自らを分析し表現できるようになる。
（３）自らの現状を見定め、今後努力すべき点を明らかにする。
（４）将来に向けて、今後の高専での修学を明確にする。
（５）団体生活を通じ、「思いやりの心」を養い「マナー等」を体得する。

関連する本校の学習・教育目標	A，C
問い合わせ・質問先	２階２０５室（地域連携教育センター）

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

項目		授業項目	到達目標または行動目標	点検
後学期	1	オリエンテーション	緊急時における非常口の場所など安全の確保に関することおよび研修期間中における基本的なルールなどについての説明を体得する。	
	2	朝の集い	国旗・校旗の掲揚、体操および清掃分担の発表を行い、研修に取り組む気持ちを新たにする。担当教員による５分間講話を行なう。	
	3	夕べの集い	国旗、校旗の降納を行なう。担当教員による５分間講話を行なう。	
	4	自己分析	自己分析について講義を受けるとともに聴講ノートを作成する。これにより学生は、進路について真剣に考える契機とするとともに、今回の合宿授業の意義を理解する。	
	5	応募書類対策	進路の応募書類対策について講義を受けるとともに聴講ノートを作成する。これにより学生は、進路について真剣に考える契機とするとともに、今回の合宿授業の意義を理解する。	
	6	コミュニケーション	コミュニケーションについて講義を受けるとともに聴講ノートを作成する。これにより学生は、進路について真剣に考える契機とするとともに、今回の合宿授業の意義を理解する。	
	7	面接対策	面接対策について講義を受けるとともに聴講ノートを作成する。これにより学生は、進路について真剣に考える契機とするとともに、今回の合宿授業の意義を理解する。	
	8	履歴書・自己紹介書作成	仮の就職希望先企業を設定し、履歴書・自己紹介書を作成する。これにより、技術者を目指すものとしての自分を、文章で客観的に表現できることを目指す。	
	9	模擬面接	面接の受け方について説明を受けた後、各班別に模擬面接を受け講評を得る。これにより面接のマナーを身につけるとともに、技術者を目指すものとしての自分を、その熱意を、言葉で表現できることを目指す。	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
情報数学Ⅰ			グローバル情報工学科　4年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	井上恵介

科目概要

情報量とは情報を量でとらえたものである．情報量は，情報の伝達や処理を効率良く高い信頼性を伴って行う技術に理論的基礎を与える．本講義ではまず，集合論や組合せ論などの離散数学および確率論の基礎を学習し，数学的準備を行う．そのうえで情報量の定義と性質について学び，さらに情報量と深い関係にあるエントロピーなどの基礎概念を学習する．さらに，シャノンが提案した通信系のモデルや情報源といった基本的諸概念，効率や信頼性を高めるための符号化法について学ぶ.

キーワード：　確率，情報量，エントロピー，通信系モデル，符号理論

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「情報数理の基礎と応用」，尾畑伸明，サイエンス社 ②　「新版 情報理論の基礎」，村田昇，サイエンス社		科目：情報数学Ⅱ，情報・統計理論 資格：

評価方法

評価項目	%
定期試験	５０
小テスト	５０
出席状況	欠課１回(50分）につき，２点減点．遅刻１回につき，１点減点
合計	１００

定期試験は演習も含めた通常の授業の成果を確認することを目的とする.
小テストは単元ごとの理解の確認を目的とする.
授業態度や出席状況が不良の者については減点を行う.

受講上のアドバイス

ノートはしっかりととり、自己の学習に利用してください.
質問は遠慮なく、いつでもしてください.

関連する本校の学習・教育目標	D
問い合わせ・質問先	２階２１０室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	集合	集合の定義，基礎概念を理解でき，集合の演算，分配法則，ド・モルガンの法則を用いた計算ができる．	
	第２週			
	第３週	順列，組み合わせ，二項定理	定義を理解し，基本公式を計算できる．	
	第４週	群・半群・モノイド	二項演算，群，半群，モノイドの定義を理解し，計算できる．	
	第５週			
	第６週	確率論の基礎(1)	試行と事象，確率を理解でき，計算できる．	
	第７週			
	第８週	問題演習と小テスト	第１週から第７週までの内容に習熟する．	
	－	**前期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	確率論の基礎(2)	条件付き確率，ベイズの定理の意味，確率変数の基礎概念を理解でき，計算できる．	
	第１０週			
	第１１週	期待値，分散，標準偏差	期待値，分散，標準偏差を計算できる．	
	第１２週			
	第１３週	情報量	情報量が何かを理解できる．	
	第１４週	問題演習と小テスト	第９週から第１３週までの内容に習熟する．	
	－	**前期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	答案返却・解説および自己点検	
後学期	第１６週	エントロピー	エントロピーが何かを理解でき，計算ができる．	
	第１７週			
	第１８週	通信系のモデル	シャノンの通信系モデルを理解できる．	
	第１９週	情報源	情報源が何かを理解でき，計算ができる．	
	第２０週			
	第２１週	通信路	通信路のモデルについて理解できる．	
	第２２週	符号化の基礎	符号化の基礎概念を理解できる．	
	第２３週	問題演習と小テスト	第１６週から第２２週までの内容に習熟する．	
	－	**後期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	効率の良い符号化	シャノンの第一定理の意味，効率の良い符号化を理解でき，簡単な符号化法を計算できる．	
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週	雑音のある場合の符号化	シャノンの第二定理の意味を理解できる．	
	第２８週	誤り検出，訂正可能な符号化法	誤り検出，誤り訂正の意味について理解し，簡単な符号化法について計算できる．	
	第２９週			
	第３０週	問題演習と小テスト	第２４週から第２９週までの内容に習熟する．	
	－	**学年末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	年間の授業と修学成果について，自己点検評価する．	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
システム制御Ⅰ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	田村景明

科目概要

コンピュータはあらゆる分野において活用されており、この授業を通じて、情報技術のみならず、メカトロニクス分野について機械、電気･電子技術など幅広い分野を学ぶことによって、広い視野で物事を考えることができるようにする。
また，理解を深めるため，必要に応じて実験をおこなう。

キーワード：メカトロニクス，製図，CAD，センサ，アクチュエータ，A/D，D/A，arduino，Ｃ言語

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「最新メカトロニクス入門」，舟橋宏明，実教出版 ②配付資料	①「Arduinoをはじめよう」，Massino Banzi（著），船田巧（訳），オライリー・ジャパン	科目：・システム制御Ⅱ ・計算機システムⅡ 資格：・組込みソフトウェア技術者試験

評価方法

評価項目	%
中間試験（2回）	３５
定期試験（2回）	３５
小テスト	１０
課題・宿題	２０
合計	１００

欠課１回（５０分授業）につき，２点減点する。
遅刻，早退それぞれ１回につき，１点減点する。
授業態度不良学生は評価項目に関係なく，減点する。

受講上のアドバイス

・予習・復習をしっかりすること。
・質問があるときはその都度応じる。しかし，放課後は部活動指導その他の用事で不在となる時間帯も多いため，なるべく予約すること。
・ノートを用意すること。

関連する本校の学習・教育目標	E，B
問い合わせ・質問先	２階２１０号室

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	ガイダンス，概論	メカトロニクスの概要を理解する。	
	第２週	製図	製図の意義を理解する。	
	第３週	投影図	投影図を理解する。	
	第４週			
	第５週			
	第６週	立体的な図示法	等角図を理解する。 テクニカルイラスト，展開図を理解する。	
	第７週			
	第８週	ＣＡＤの基本操作。まとめ。	ＣＡＤを理解する。第1週目～第8週目までまとめる。	
	－	**前学期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	機械の運動と機構	機械の運動と機構を理解する。	
	第１０週			
	第１１週			
	第１２週	センサの基礎	メカトロニクスとセンサの関係を理解する。	
	第１３週	機械量を検出するセンサ	ポテンショメータを理解する。	
	第１４週	物体を検出センサ。まとめ。	物体検出センサを理解する。第9週目～第14週目をまとめる	
	－	**前学期定期試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	試験返却。確認する。	
後学期	第１６週	その他のセンサ	温度センサ，光センサを理解する。	
	第１７週	マイコン開発環境	マイコンarduino開発環境を理解する。	
	第１８週	デジタル入出力の基礎	ＬＥＤ点灯，スイッチ入力を理解する。	
	第１９週	その他のデジタル入力	光センサを理解する。	
	第２０週	アナログ入力	・ポテンショメータを理解する。 ・温度センサを理解する。 ・赤外線センサを理解する。	
	第２１週			
	第２２週			
	第２３週	まとめ	第16週目～第22週目をまとめる。	
	－	**後学期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	アクチュエータの基礎	アクチュエータを理解する。	
	第２５週	駆動回路	トランジスタとリレーの利点・欠点を理解する。	
	第２６週	アクチュエータの利用	直流モータを理解する。	
	第２７週	駆動回路実験	トランジスタ，リレー駆動を理解する。	
	第２８週	直流モータ実験	直流モータ制御を理解する（ＰＷＭ制御：疑似アナログ出力）。	
	第２９週			
	第３０週	まとめ	第24週目～第29週目までをまとめる。	
	－	**後学期定期試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	試験返却。確認する。	

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
計算機システムⅡ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	元木光雄

科目概要

マイクロコンピュータの基本的構成と動作の仕組みを理解する。まず、論理回路の基礎を学び、論理素子や演算回路、記憶素子などの理解を深める。その上で、マイクロコンピュータの構成要素と動作原理を学ぶ。

キーワード：

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「アセンブリ言語スタートブック」，高田美樹，技術評論社	①　「試しながら学ぶＡＶＲ入門」，土井，ＣＱ出版 ②　「すぐわかる！組込み技術教科書」，香取・立田，ＣＱ出版	科目：計算機システムⅢ，システム制御Ⅰ・Ⅱ 資格：基本情報技術者試験，組込みソフトウェア技術者試験

評価方法

評価項目	%
中間試験	３０
期末試験	３０
演習・課題	３０
小テスト	１０
合計	１００

評価項目と独立に，学習態度評価を以下のように行う．
- 欠課１回（５０分授業）につき，２点減点
- 遅刻，早退それぞれ１回につき，１点減点
- 授業態度不良学生は評価項目に関係なく，減点

提出物の遅れは，１週間毎に１０％ずつ減点する

受講上のアドバイス

携帯電話や家電製品などでは，コンピュータの内部でプログラムがどのように動いているのかを意識しないと，安価で性能の良い製品は作れません．この講義ではその基礎知識を扱います．

- 授業中にきちんとノートをとること
  （「ノートをとる」ということは「黒板をそのまま書き写す」**ことではない**）
- 復習をしっかり行うこと．わからない場合には，教科書やノート，参考資料をよく調べ，それでもわからない場合にはきちんと質問すること
- 実験では，教科書や配布資料をしっかり読み，何をしているのか理解して実験を行うこと．ただ実行するだけでは何の意味もありません

関連する本校の学習・教育目標	Ｅ，Ｂ
問い合わせ・質問先	２階２１１室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	ガイダンス	講義の目的を理解する	
	第２週	論理回路の基礎	数を２進数で表現できる ブール代数が何かわかる 論理素子と簡単な論理回路の真理値表を計算できる	
	第３週			
	第４週			
	第５週	演算回路	半加算器・全加算器の真理値表を計算できる ＡＬＵを理解できる	
	第６週			
	第７週	記憶素子とメモリ	フリップフロップの動作を理解できる メモリの構成とデータの指定方法を理解する	
	第８週			
	－	**前期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	計算機の構成	計算機の構成を理解できる	
	第１０週			
	第１１週	機械語とアセンブラ	機械語，アセンブラ，アセンブリ言語を説明できる	
	第１２週	アセンブラ演習１	簡単なアセンブリプログラムの動作を理解できる	
	第１３週			
	第１４週			
	－	**前期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	達成度の自己点検を行う	
後学期	第１６週	アセンブラ演習２	サブルーチンコールの動作を理解できる	
	第１７週			
	第１８週			
	第１９週	マイコン実験１	実際のマイコンでアセンブリプログラムを動作できる	
	第２０週			
	第２１週			
	第２２週	マイコン実験２	ＩＯレジスタの使い方を理解できる	
	第２３週			
	－	**後期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	マイコン実験３	簡単なＣ言語プログラムの動作を理解できる 実際のマイコンでＣ言語プログラムを動作できる	
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週	割り込み	割り込みの概念を理解する	
	第２８週			
	第２９週	マイコン実験４	実際のマイコンで割り込みを用いたプログラムを動作できる	
	第３０週			
	－	**学年末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	達成度の自己点検を行う	

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
コンピュータ演習Ⅲ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	館　宜伸

科目概要

代表的なオブジェクト指向プログラミング言語であるJavaの基礎を学習する。プログラミングで必要とされるファイル操作や文字列操作を中心に展開していく。また、利用するためのインターフェイスであるＣＵＩとＧＵＩの２種類の実践的な作成技法の習得を目指す。

キーワード：　Java言語，Eclipse，ファイル入出力，文字列操作，ＣＵＩ，ＧＵＩ

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「Java 2 アプリケーションづくりの初歩」，三谷純，翔泳社	①　「Java言語プログラミングレッスン下」，結城浩，SoftBank Creative	科目：コンピュータ演習Ⅰ，コンピュータ演習Ⅱ 資格：Javaプログラミング能力認定試験

評価方法

評価項目	%
定期試験	６０
課題	４０
合計	１００

成績は、評価項目に従って評価する。
なお、欠課１回（５０分）につき２点減点、遅刻１回につき１点減点とする。
また、授業を受ける上で必要な資料を忘れた場合も１点減点とする。

受講上のアドバイス

演習や実験中に発生したトラブルの対処は、良い経験になります。ただし、なぜトラブルが発生したのか、何が原因だったのか？などを自分で調査・発見にチャレンジしてください。また、原因やその解消方法などが判明したら、発生内容とともに記録しておきましょう。分析せずに適当に解決しただけでは次回同じ現象が発生しても解消できなくなります。コンパイルエラー会場よりも実行時エラー解消の方が難しいとは思いますが、あきらめずに取り組んでください。

受講上の注意を以下に示します。これらは必ず守って下さい。

1. ソフトウェアの使い方など教科書に＋αの内容を記録できるようにノートを用意すること
2. 課題の提出期限は必ず守ること
3. 演習・課題には納得するまで取り組むこと
4. 無断で席や教室から離れないこと

関連する本校の学習・教育目標	E，B
問い合わせ・質問先	２階２０７室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	ガイダンス	本授業の目的を理解できる	
	第２週	データ型・演算子・制御構文	基本型・参照型などの違いを理解できる	
	第３週	メソッド・配列	メソッドの仕組みを理解でき、適切にメソッド化できる	
	第４週	オブジェクト指向	オブジェクト指向の概念を理解できる	
	第５週	インスタンス・カプセル化	インスタンス生成やカプセル化を理解できる	
	第６週	コンストラクタ・継承	継承の概念や仕組みを理解できる	
	第７週	オーバーライド・抽象クラス	抽象クラスやインターフェイスを理解できる	
	第８週	継承と委譲	継承と委譲の違いを理解できる	
	－	**前学期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	例外処理	例外処理の仕組みを理解し、適切にプログラミングできる	
	第１０週			
	第１１週	パッケージ	Javaのパッケージを理解できる	
	第１２週	コレクション・フレームワーク	コレクション・フレームワークを理解できる	
	第１３週			
	第１４週	ファイル操作	ファイルやフォルダを作成するプログラムを作成できる	
	－	**前学期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	
後学期	第１６週	ファイル入出力	ファイルへデータを入出力できる	
	第１７週			
	第１８週	文字列操作	ファイルの文字列を操作して、必要なデータを抽出できる	
	第１９週			
	第２０週			
	第２１週	ＣＵＩ	コマンドライン入力による実行制御プログラムが作成できる	
	第２２週			
	第２３週			
	－	**後学期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	ＧＵＩ	フレームの作成方法、ラベルやボタンの配置などの方法がわかる	
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週		イベント処理の概念が理解できる	
	第２８週	応用	オリジナルのプログラムを作成し、これまでの内容を定着させる	
	第２９週			
	第３０週			
	－	**後学期末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	年間の授業と就学成果について、自己点検評価する	

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
創造実験Ⅳ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	後	今澤明男、井上恵介

科目概要

実社会において情報技術で問題解決をはかる際に必要となる技術ならびに能力を育成する。そのために、問題の発見・問題の本質の把握から始め、情報技術を活かした解決方策の提案、解決のための具体的システムやソフトウェア等の設計・開発、方策の評価の一連のプロセスを、グループ活動を通じて体験する。これにより、創造的情報技術者に必要な分析力・構想力・コミュニケーション能力・管理能力を涵養する。

キーワード：　問題解決、ソフトウェア開発、オブジェクト指向、アジャイル開発

教科書	参考書	関連する科目・資格
指定せず	①　「なぜ、あなたはJavaでオブジェクト指向開発ができないのか」小森裕介、技術評論社 ②　「アジャイルサムライ―達人開発者への道―」J．Rasmusson、オーム社	科目：システム開発演習Ⅰ 資格：Javaプログラミング能力認定試験

評価方法

評価項目	%
成果物	３０
プレゼンテーション	２０
チーム報告書	２０
個人報告書	２０
出席	１０
合計	１００

成果物としてのソフトウェア、プレゼンテーション、報告書について評価し成績を算出します。

成果物、プレゼンテーションについては、原則としてはチームで同一評価とします。ただし、チームへの貢献度が非常に低い（または高い）場合は、それを考慮します。

報告書はチームで提出するものと個人で提出するものの２種類を要求します。チームで提出したものについては原則としてチームで同一評価としますが、個人で提出したものについては個人別に評価します。

受講上のアドバイス

1）ソフトウェア開発を「問題解決」の視点からとらえます。単なるソフトウェア開発の授業ではないことに注意してください。
2）限られた資源と時間の中で有効なソフトウェアを開発する方法、すなわち「アジャイル開発」の考えも学びます。単なるソフトウェア作りを学ぶのではなく、柔軟で効率的な仕事のやり方を身につけるつもりで受講してください。
3）どのようにすれば自チームを「創造的な開発チーム」にできるかも課題のひとつです。この点にも留意して受講してください。
4）実装はJavaを用いることを想定しています。常にJavaの参考書を携帯してください。また、システム開発演習Ⅰの教科書も携帯してください。
5）当科目は実験科目です。したがって、受講者は必ず学科指定の作業着を着用してください。

関連する本校の学習・教育目標	E，B
問い合わせ・質問先	２階２０６室（今澤）

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週			
	第２週			
	第３週			
	第４週			
	第５週			
	第６週			
	第７週			
	第８週			
	－			－
	第９週			
	第１０週			
	第１１週			
	第１２週			
	第１３週			
	第１４週			
	－			－
	第１５週			
後学期	第１６週	問題の発見と整理ならびに情報技術による解決策の提案	コンピュータ・ソフトウェアで解決可能な問題を発見し整理するとともに、解決策を作り発表する。	
	第１７週			
	第１８週			
	第１９週	ユーザストーリの作成と整理	提案するソフトウェアの要件をリストアップし、重要性、実現可能性、開発の効率性の見地から評価し整理する。	
	第２０週			
	第２１週	モデリング	実用のための必要最小限の要件を満たすソフトウェアのモデリングを、オブジェクト指向に基づいて行う。	
	第２２週			
	第２３週	実装	モデリングをもとに実装を行う。	
	－			－
	第２４週	実装と評価	実装を終了させ、評価を行う。	
	第２５週	中間プレゼンテーション	第１イテレーションの結果を発表する。	
	第２６週	第２イテレーション	第１イテレーションの成果物を改良する。	
	第２７週			
	第２８週			
	第２９週	最終プレゼンテーションと報告書提出	第２イテレーションの成果をもとに、最終のプレゼンテーションを行うとともに報告書を提出する。	
	第３０週			
	－			－
	第３１週	自己点検自己評価	プレゼンテーションの評価等をもとに学修成果を自己点検する。	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
システム開発演習Ⅰ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前	今澤明男、井上恵介

科目概要

ソフトウェア開発モデルに沿った開発プロセスを、演習を通して体験することにより、コーディング・アンド・デバッグ方式のプログラム作成からの脱却を図る。また、体験を通じてオブジェクト指向の基本的な考え方を体得し、応用できるようにする。さらに、グループ活動を通じて、技術的コミュニケーション能力、プロジェクト管理能力、チームスピリットを育む。

キーワード：　ソフトウェア開発、Java、オブジェクト指向、モデリング、フレームワーク

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「なぜ、あなたはJavaでオブジェクト指向開発ができないのか」小森裕介、技術評論社	①　「アジャイルサムライ―達人開発者への道―」J. Rasmusson、オーム社	科目：コンピュータ演習Ⅱ、創造実験Ⅳ 資格：基本情報技術者、Javaプログラミング能力認定試験

評価方法

評価項目	%
前学期中間試験	３０
前学期末試験	３０
演習課題	４０
合計	１００

演習科目ではあるが、定期試験ならびに中間試験も行い評価する。

普段の出欠・演習態度が不良の場合は、最大５０点の減点をする。遅刻・早退も減点の対象とする。

受講上のアドバイス

1）当科目は、オブジェクト指向によるソフトウェア開発について、演習を通じて理解を深めるものである。したがって、演習には積極的に取り組むこと。

2）教科書は、独習を念頭に執筆されている。したがって予習・復習が容易である。予習・復習を欠かさないこと。

3）授業時は、当科目の教科書とともに、自らにあったJavaのテキストを持参すること。

関連する本校の学習・教育目標	E,B
問い合わせ・質問先	２階２０６室（今澤）

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第 1 週	オブジェクト指向の必要性	オブジェクト指向の利点と必要性を理解する。	
	第 2 週	オブジェクト指向でのソフトウェア開発	簡単なソフトウェア開発を体験し、開発プロセスの基礎を理解する。	
	第 3 週			
	第 4 週	オブジェクト指向でのプログラム拡張	継承を用いたプログラムの拡張を体験し、理解する。	
	第 5 週	ソフトウェアの振る舞いの変更	インタフェースを用いた拡張性の高いプログラムの作成を体験し、理解する。	
	第 6 週	複雑なソフトウェアの作成	やや複雑なソフトウェア開発を体験し、オブジェクト指向での開発プロセスの全体像を理解する。	
	第 7 週			
	第 8 週	復習	第７週までの内容を復習し、理解を深める。	
	－	**前期中間試験**	**（試験）**	－
	第 9 週	既存のソフトウェアの再利用	似たようなソフトウェアを効率良く開発する際の基本的考え方と注意点を、体験により理解する。	
	第１０週	再利用を考慮したソフトウェアの設計	似たような問題を抽象化してモデリングし、様々なソフトウェアに利用できるようにしたもの、すなわち「フレームワーク」の作り方を、体験を通じて理解する。	
	第１１週			
	第１２週	フレームワークを利用したソフトウェア開発	フレームワークを利用したソフトウェア開発を体験し、フレームワークの作り方と有用性を理解する。	
	第１３週			
	第１４週	復習	第１３週までの内容を復習し、理解を深める。	
	－	**前期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	答案返却と解説をもとに、修学結果を点検し、自己評価する。	
後学期	第１６週			
	第１７週			
	第１８週			
	第１９週			
	第２０週			
	第２１週			
	第２２週			
	第２３週			
	－			－
	第２４週			
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週			
	第２８週			
	第２９週			
	第３０週			
	－			－
	第３１週			

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
情報システムI			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	藤澤　武

科目概要

高度な情報化社会となった今日、情報処理システムが扱うデータの量は膨大であり、かつ、データ量は加速度を増して日々増大している。データ処理の中心的役割を担うデータベースの役割は重要なものとなってきている。
本科目では、リレーショナルデータベースを中心にデータベースの概論とSQL言語を学ぶ。また実習を通して実務的かつ効率的なデータベースシステムを構築する技術の修得をはかる。

キーワード：　データベース，MySQL，正規化

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「改定新版　これだけはおさえたいデータベース基礎の基礎」,谷尻かおり，技術評論社	①　「かんたんUML」，オージス総研	科目：ソフトウェア工学 資格：データベーススペシャリスト，Oracleマスター

評価方法

評価項目	%
定期試験	５０
実習課題	５０
合計	１００

定期試験は事前に告知した閾値に得点が届かなった学生を対象に再テストを行うことがある。
実習課題は未提出の場合は０点とし、提出された課題の平均点を演習課題の成績とする。学年成績は、各学期分を平均し、総合評価する。
総合評価時やむを得ない場合、準備期間をおいた後、１回のみ再テストを行う。
学習態度の評価として以下の行為１回につき２点の減点を行う
　遅刻
　途中退席
　指示に従わない
　授業の進行を妨害する行為
その他、授業態度として不適切と判断される態度や行為

受講上のアドバイス

データベースは実社会で最も利用されているソフトウェアの一つです。多くの分野でデータベースの知識は必要となりますのでしっかり理解してください。授業は実習を中心に行います。わからないことは必ず質問して授業中に解決するようにしてください

関連する本校の学習・教育目標	E，B
問い合わせ・質問先	２階２０９室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	オリエンテーション	データベースの概要、実行環境、開発環境について理解する	
	第２週			
	第３週	オペレーション実習①	サンプルアプリケーションのデータベース仕様を理解し、操作できるようになる。また、データベースの基本的な運用方法を学び、バックアップや復元ができるようになる。	
	第４週			
	第５週			
	第６週			
	第７週	SQL概説①	SQLの基本的な文法と操作方法を理解する。必要に応じてビデオ教材を用いる	
	第８週			
	－	**前学期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	インプリメント実習①	データベースのモデリングを理解し、モデル通りにデータベースが構築できるようになる	
	第１０週			
	第１１週			
	第１２週			
	第１３週	SQL概説②	高度なSQLの文法と操作方法を理解する。必要に応じてビデオ教材を用いる	
	第１４週			
	－	**前学期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	
後学期	第１６週	デザイン実習	正規化を理解し、仕様書に基づいてデータベースのモデリングができるようになる。また、データベースモデルからデータベースが構築できるようになる	
	第１７週			
	第１８週			
	第１９週			
	第２０週	インプリメント実習②	要求定義から始まるすべての工程を実際におこない、データベースを用いたアプリケーションを作成する	
	第２１週			
	第２２週			
	第２３週			
	－	**後学期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	オペレーション実習②	大規模なデータを扱うデータベースを構築して実際に運用を行う。実社会のシステムに近いデータベースの運用方法を身につける。	
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週			
	第２８週	データベース概論	実習の復習を行いデータベースの基本的な知識への理解を深める。必要に応じてビデオ教材を用いる	
	第２９週			
	第３０週			
	－	**後学期末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	答案返却・解説及び自己点検	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
情報システムⅡ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	元木光雄

科目概要

プログラムを作る際には、どのようにデータを格納するかということやデータの処理をどのように行うかということを考えなければならない。どのような方法を用いるかによってプログラムの性能が著しく異なることもある．本講義では、データの格納方法であるデータ構造と、処理手順すなわちアルゴリズムとを学習する。

キーワード：　データ構造，アルゴリズム

教科書	**参考書**	**関連する科目・資格**
①　「データ構造とアルゴリズム」，杉原厚吉，共立出版	②　「「アルゴリズム」のキホン」，杉浦賢，ソフトバンククリエイティブ	科目： 資格：基本情報技術者

評価方法

評価項目	**%**
中間試験	２５
期末試験	２５
演習・課題	５０
合計	１００

評価項目と独立に，学習態度評価を以下のように行う．
- 欠課１回（５０分授業）につき，２点減点
- 遅刻，早退それぞれ１回につき，１点減点
- 授業態度不良学生は評価項目に関係なく，減点

提出物の遅れは，１週間毎に１０％ずつ減点する

受講上のアドバイス

データ構造とアルゴリズムは，効率的なプログラムを作成するための重要な概念です．「問題をどのように定式化し，どのように解くかを考える」という論理的なパズルを楽しめるようになってください．

- 授業中にきちんとノートをとること
  （「ノートをとる」ということは「黒板をそのまま書き写す」**ことではない**）
- 復習をしっかり行うこと．わからない場合には，教科書やノート，参考資料をよく調べ，それでもわからない場合にはきちんと質問すること

関連する本校の学習・教育目標	E，B
問い合わせ・質問先	２階２１１室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	ガイダンス	アルゴリズムとプログラムの違いを理解し，記述を理解する	
	第２週	入力と出力	様々な問題に対する入力と出力を理解する	
	第３週	配列	配列の概念を理解する	
	第４週		配列に対するアルゴリズムの動作を行える	
	第５週	アルゴリズムの性能	アルゴリズムの性能評価基準と，オーダー表記を理解する	
	第６週	ソートアルゴリズム	データを整列（ソート）するアルゴリズムを考えられる	
	第７週		基本的なソートアルゴリズムの動作を行える	
	第８週	線形リスト	リスト構造の必要性を説明でき，操作ができる	
	－	**前期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	線形リスト構造	リスト構造を用いたアルゴリズムの動作を行える	
	第１０週		スタックとキューの操作を行える	
	第１１週	木構造	木構造を理解し，構築を行える	
	第１２週		木構造の操作ができる	
	第１３週		木構造を用いたアルゴリズムの動作を行える	
	第１４週	卒業研究中間発表聴講	卒業研究でどのようなことが行われているか調査する	
	－	**前期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検・再帰呼び出し①	達成度の自己点検を行う．再帰呼び出しの概要を理解する	
後学期	第１６週	再帰呼び出し②	再帰呼び出しを用いたアルゴリズムの動作を行える	
	第１７週		再帰呼び出しを用いたアルゴリズムの設計を行う	
	第１８週	分割統治法	分割統治法の概要を理解する	
	第１９週		分割統治法を用いたアルゴリズムの動作を行える	
	第２０週		分割統治法を用いたアルゴリズムの設計を行う	
	第２１週	グラフ	グラフの構造を理解できる	
	第２２週		グラフ上の簡単なアルゴリズムの動作を行える	
	第２３週		グラフ上の問題とアルゴリズムを考えることができる	
	－	**後期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	貪欲法	貪欲法の概要を理解する	
	第２５週		貪欲法を用いたアルゴリズムの動作を行える	
	第２６週		貪欲法を用いたアルゴリズムの設計を行う	
	第２７週	動的計画法①	動的計画法の概要を理解する	
	第２８週		動的計画法を用いたアルゴリズムの動作を行える	
	第２９週	卒業研究学年末発表会聴講	卒業研究でどのようなことが行われているか調査する	
	第３０週	動的計画法②	動的計画法を用いたアルゴリズムの設計を行う	
	－	**学年末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	達成度の自己点検を行う	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
メディア情報Ⅰ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	元木光雄

科目概要

コンピュータの発達により，画像処理やコンピュータグラフィックスは幅広い分野において大きな役割を担っている。本講義では、画像処理技術やコンピュータグラフィックス技術の基礎をJava言語によるGUIのプログラミングを通じて学ぶ。

キーワード：　ＧＵＩ，Ｓｗｉｎｇ，画像処理,

教科書	参考書	関連する科目・資格
指定なし	①　「Java 2」，三谷純，翔泳社 ②　「ビジュアル情報処理」，CG-ARTS協会	科目：メディア情報Ⅱ，コンピュータ演習III 資格：Javaプログラミング能力認定試験，ＣＧエンジニア検定

評価方法

評価項目	%
中間試験	２５
期末試験	２５
課題・演習	５０
合計	１００

評価項目と独立に，学習態度評価を以下のように行う．
- 欠課１回（５０分授業）につき，２点減点
- 遅刻，早退それぞれ１回につき，１点減点
- 授業態度不良学生は評価項目に関係なく，減点

提出物の遅れは，１週間毎に１０％ずつ減点する

受講上のアドバイス

- 参考書①（コンピュータ演習IIIの教科書）を必ず携帯すること
- 他人（webに掲載されているものを含む）のプログラムをコピーしても，実力はつきません．他人のプログラムは参考にとどめ，自分で考えながら，自力でプログラムを作るようにしてください．
- コンピュータグラフィックスの作成を楽しんでください．

関連する本校の学習・教育目標	E，B
問い合わせ・質問先	２階２１１室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	日程	授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	ガイダンス	メディア情報Ⅰ・Ⅱを通じた最終目標を理解する	
	第２週	JavaでのGUIプログラミング基礎	Ｓｗｉｎｇを用いたフレームの作成ができる	
	第３週			
	第４週	光と色	コンピュータでの色の表現を理解し，Javaで色を扱える	
	第５週	画像の扱い	コンピュータでの画像の扱いと解像度・階調を理解する	
	第６週	画像フォーマットの種類	よく使われる画像フォーマットを理解する	
	第７週	画像の読み込み	画像ファイルを表示するプログラムを作成できる	
	第８週	Java2Dでの描画	Java2Dによる図形描画を行える	
	－	**前期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	Java2Dでの描画	様々な曲線を理解できる	
	第１０週	ビットマップキャラクタ	ビットマップキャラクタのプログラムを作成できる	
	第１１週		オリジナルのビットマップキャラクタを作成する	
	第１２週	画像フォーマットの詳細	簡単な画像フォーマットの内部構造を理解する	
	第１３週		画像ファイルを出力するプログラムの作成ができる	
	第１４週	卒業研究中間発表聴講	卒業研究でどのようなことが行われているか調査する	
	－	**前期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検・発表	達成度の自己点検を行う	
後学期	第１６週	画像処理①	画像の拡大・縮小・回転が理解できる	
	第１７週		補間の原理が理解できる	
	第１８週		画像の拡大・縮小・回転を行うプログラムの作成ができる	
	第１９週	画像処理②	画素ごとのフィルタを理解する	
	第２０週		空間フィルタを理解する	
	第２１週		画像処理を行うプログラムの作成ができる	
	第２２週	Javaによるアニメーション	簡単なタイマーを使ったプログラムを作成できる	
	第２３週		移動を用いた簡単なアニメーションプログラムを作成できる	
	－	**後期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	アニメーション作品の作成	作品のアイデアをまとめることができる	
	第２５週		作品をプログラムとして表現できる	
	第２６週			
	第２７週	３ＤＣＧの基礎①	３ＤＣＧモデリングの基礎を理解する	
	第２８週		簡単な３ＤＣＧモデリングを行える	
	第２９週	卒業研究学年末発表会聴講	卒業研究でどのようなことが行われているか調査する	
	第３０週	３ＤＣＧの基礎②	３ＤＣＧを表示するための簡単なプログラムを作成する	
	－	**学年末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	達成度の自己点検を行う	

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
エンジニアリングマネジメントａ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前	小髙有普

科目概要

発想内容の視覚化やコミュニケーションツールとして有効なスケッチスキルを習得する。エンジニアの発想にはモノとコトがあり、これらを自由に表現するための理論的フリーハンド描画方法を学ぶ。後半では習得したスキルを活かし、感性表現・伝達の訓練で実践的スキルの変換を目指す。

キーワード：　コミュニケーションドローイング、エンジニアリングデザイン、デザインシンキング

教科書	**参考書**	**関連する科目・資格**
①　「アイデア・ドローイング　第2版」，中村純生，共立出版	なし	科目： 資格：

評価方法

評価項目	**%**
演習・課題	１５
小テスト	２０
成果課題	２０
作品	３０
学習態度	１５
合計	１００

1．基礎演習課題の理解度を小テスト、成果課題として評価する。
2．基礎を理解したうえで、アイデアを本手法で表現し、習得しているかを作品として評価する。
3．未提出課題は減点評価される。
4．エンジニアリングマネジメントの学年成績はエンジニアリングマネジメントａとエンジニアリングマネジメントｂの成績の平均とする。

受講上のアドバイス

・ドローイングの理解
　エンジニアが発想や伝達をする際の有効性。
　「形あるモノ」から「形のないコト」までを図で描き表わすことで、専門性を問わず誰にでも容易に伝達ができる手法。

関連する本校の学習・教育目標	B，E
問い合わせ・質問先	２階207室小髙まで

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第 1 週	コミュニケーションドローイングについて	図（ドローイング）による発想の記録と情報伝達の有効性を知る	
	第 2 週	表現法①	立体物の構造把握ができる	
	第 3 週	表現法②	立体物を観察し、デッサンができる	
	第 4 週	表現法演習①	立体の表現手法を理解し、演習１を提出できる	
	第 5 週	表現法演習②	立体の表現手法を理解し、演習２を提出できる	
	第 6 週	表現法演習③	立体の表現手法を理解し、演習３を提出できる	
	第 7 週	表現法演習④	立体の表現手法を理解し、演習４を提出できる	
	第 8 週	表現法演習⑤	立体の表現手法を理解し、演習５を提出できる	
	－			－
	第 9 週	表現法演習⑥	立体の表現手法を理解し、演習６を提出できる	
	第１０週	表現法演習⑦	立体の表現手法を理解し、演習７を提出できる	
	第１１週	表現法演習⑧	立体の表現手法を理解し、演習８を提出できる	
	第１２週	製品開発①	現状商品の把握とアイデア抽出	
	第１３週	製品開発②	アイデアを表現できる	
	第１４週	製品開発③	他者に作品のアドバイスを受けて改善する	
	－			－
	第１５週	自己点検	最終課題の合評および自己点検	
後学期	第１６週			
	第１７週			
	第１８週			
	第１９週			
	第２０週			
	第２１週			
	第２２週			
	第２３週			
	－			－
	第２４週			
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週			
	第２８週			
	第２９週			
	第３０週			
	－			－
	第３１週			

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
エンジニアリングマネジメントｂ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	後	館　宜伸

科目概要

ソフトウェア開発は単にプログラミング（コーディング作業）だけではなく、問題提起から始まり、テスト・納品までを含んでいる。むしろ、プログラミングは全工程の３割～４割といわれている。残る大半の割合であるプログラミング以外の工程を講義形式で行う。ものづくり開発で取り入れられている一連の工程などに対して、現在も必要とされている理由などを中心に議論するなどの演習も行う。

キーワード：

教科書	参考書	関連する科目・資格
指定なし	①　「ソフトウェア工学入門」，河村一樹，近代科学社	科目：ソフトウェア工学 資格：基本情報技術者

評価方法

評価項目	%
定期試験	６０
課題	２０
報告書	２０
合計	１００

成績は、評価項目に従って評価する。
エンジニアリングマネジメントの学年成績はエンジニアリングマネジメントａとエンジニアリングマネジメントｂの成績の平均とする。
なお、欠課１回（５０分）につき２点減点、遅刻１回につき１点減点とする。
また、授業を受ける上で必要な物を忘れた場合も１点減点とする。

受講上のアドバイス

演習・実験は自ら積極的に参加し、十分に悩み、決定してください。実社会でも同様ですが、仕事・作業としてやらされていると感じてしまうと、何も身に付かず、辛いだけになってしまいます。率先して取り組んで、さらに喜びや楽しみを感じてください。仕事上の苦労や達成には、自分一人の力や努力だけではどうにもならないことが多く存在します。他人の存在の問題と重要性、チームの士気や健康などが、トラブルや達成感などに左右されることも学んでください。

関連する本校の学習・教育目標	Ｂ，Ｅ
問い合わせ・質問先	２階２０７室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週			
	第２週			
	第３週			
	第４週			
	第５週			
	第６週			
	第７週			
	第８週			
	－			－
	第９週			
	第１０週			
	第１１週			
	第１２週			
	第１３週			
	第１４週			
	－			－
	第１５週			
後学期	第１６週	ガイダンス	授業の目標を理解する	
	第１７週	ソフトウェア工学とは	ソフトウェア工学の意義を理解する	
	第１８週	プロセスモデル	開発プロセスの各種モデルを理解する	
	第１９週	問題発見・問題解決	問題を発見し、解決する技法を理解する	
	第２０週	要件定義	システムの要件を挙げ、要件定義書を作成する	
	第２１週	外部仕様	要件を分析し、外部仕様（設計）書を作成する	
	第２２週	構造化技法	段階的な枠組みで規定していく過程を理解する	
	第２３週	オブジェクト指向開発技法	分析や設計でＵＭＬを用いる理由を理解する	
	－	**後学期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	内部設計	外部仕様書を基に、内部設計書を作成する	
	第２５週	ソフトウェアの品質	ソフトウェアの各品質について理解する	
	第２６週	プログラミング	内部設計書に基いて開発する	
	第２７週	単体テスト	内部設計書に基づいたテストを実施する	
	第２８週	結合テスト	外部仕様書に基づいたテストを実施する	
	第２９週	システムテスト	要件定義書に基づいたテストを実施する	
	第３０週	取扱説明書作成	利用者向けの利用手順などを作成する	
	－	**後学期末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	年間の授業と修学成果について、自己点検評価する	

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
情報・ビジネス英語Ⅰ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	履修　2	前・後	元木光雄，ブルース・ゲイロード

科目概要

コンピュータで用いられるソフトウェアやインターネット上のサービスには、海外で作られたものが数多くあり、日本語化されていないものも少なくない。また、ほとんどのプログラミング言語も英語がベースとなっている。そこで、このようなソフトウェアやサービスを使いこなしたり、さらには作ったりすることを目指すため、ＩＴ分野で用いられている英語を学習する。具体的には、プログラミングに必要な英語知識を身につけるほか、最近のＩＴ業界の動向を英語で学習する。

キーワード：

教科書	参考書	関連する科目・資格
指定なし	指定なし	科目：情報・ビジネス英語Ⅱ 資格：

評価方法

評価項目	%
定期試験	40
Project and Presentation	60
合計	１００

評価項目と独立に，学習態度評価を以下のように行う．
- 欠課１回（５０分授業）につき，２点減点
- 遅刻，早退それぞれ１回につき，１点減点
- 授業態度不良学生は評価項目に関係なく，減点

提出物の遅れは，１週間毎に１０％ずつ減点する

受講上のアドバイス

コンピュータの世界にはもともと英語だったカタカナ言葉が氾濫しています．カタカナを丸暗記するのではなく，英語として意味を捉えられるようになりましょう．

関連する本校の学習・教育目標	Ｃ，Ｅ
問い合わせ・質問先	２階２１１室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	English on computers and the internet	Students can understand words on computers and the internet	
	第２週			
	第３週			
	第４週	Presentation 1	Students survey English application software	
	第５週			
	第６週			
	第７週			
	第８週	Presentation 2	Students survey English services	－
	－			
	第９週			
	第１０週			
	第１１週			
	第１２週	English for programming	Students learn English required for programming	
	第１３週			
	第１４週			
	－	前学期末試験	（試験）	－
	第１５週	自己点検	達成度の自己点検を行う	
後学期	第１６週	Reading Manuals	Read manual documents of English software	
	第１７週			
	第１８週			
	第１９週			
	第２０週	Presentation	Students survey English application software	
	第２１週			
	第２２週			
	第２３週			
	－			－
	第２４週	Presentation	Students survey English services	
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週			
	第２８週	Writing English Web pages	Students write English Web pages	
	第２９週			
	第３０週			
	－	後学期末試験	（試験）	－
	第３１週	自己点検自己評価	達成度の自己点検を行う	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

Learning Support Plan（2012）

Course			Class
International Communication 1			Global Information Technology- 4th Year
Required or Elective	**Credits**	**Semesters**	Instructor **担当教員**
Required	履修 2	1 & 2	Sarah Forbes & Le Nhung

Course Overview

In this course, you will learn basic design principles to make PowerPoint slides and posters that are different, simpler, more visual, more natural and more meaningful for your audience. You will also learn good physical delivery skills, such as eye contact, posture, and loud voice, to aid in effectively delivering your presentations. Together, these skills will help you overcome anxiety and gain confidence in making oral presentations in English.

Keywords：presentation, design, PowerPoint, poster, visual, simplicity, contrast, physical skills

Textbook	Reference Materials	Related Subjects & Qualification Tests
N/A	①Handouts ②Internet Resources (http://www.presentationzen.com, http://www.pecha-kucha.org)	Subjects： Qualification Tests：

Evaluation Method

Evaluation Percentage	%
Presentations and Visuals	50
Class work	25
Participation/ Effort/Attitude/ Attendance	25
Total	**100**

- Teachers' assessment of the quality of students' presentations via rubric or check-list.
- Teachers' assessment of the quality of the visuals (PowerPoint slides/Poster) based on points covered in class.
- Successful completion of in-class assignments
- Class participation, effort, attitude, attendance graded with a rubric

Advice from Instructor to Students for Class

Most people are nervous when they give a presentation; it's natural. The best way to overcome anxiety of making a presentation is to give many presentations. In this class, you will have the opportunity to make several presentations to help you become a more effective communicator. Even if you believe that you will never have to give a presentation in the future, this class will help you in three important ways: 1) your language skills will improve; 2) your organizational skills will improve and 3) your confidence in your own abilities will increase.
Don't be afraid to ask questions for clarification and understanding ("*Once more please?" "What do you mean?"*)
Come prepared with a binder, pencil, class hand-outs, *and a USB to back up all your work*.
Say hello and good-bye; bring positive energy, don't be shy, be respectful of yourself, your teacher and classmates; practice good ergonomics when working on the computer, and if you are absent, it is <u>your</u> responsibility to make arrangements with the teachers for make-up work.

Course Objectives	C, E
Office	KTC 31-103

Class No. _____ Name _____

	Week	Contents	Achievement Goals	Check
1st Semester	**Week 1**	Orientation & Introduction	Understand syllabus, grading policy; Getting to know each other	
	Week 2	*Presentation Zen*	Learn about the focus of this class; Computer & PPT Tutorial	
	Week 3	Village of 100 Presentation	Introduction to project; Design Principles 1; Quality visuals	
	Week 4	Village of 100 Presentation	Design Principle 2; Easy-to-read and understand graphs/charts	
	Week 5	Village of 100 Presentation	Design Principles 3; Contrast in color and text	
	Week 6	Village of 100 Presentation	Design Principles 4-5; Balance, white space, and harmony; Practice good physical skills and speaking	
	Week 7	Village of 100 Presentations	Deliver an effective collaborative presentation for filming	
	Week 8	Pecha-Kucha Presentation Intro. PowerPoint Design Principle 1	Introduction to Pecha-Kucha style and project; Photo tutorial	
	—			—
	Week 9	Pecha-Kucha Presentation PowerPoint Design Principle 2	Design an easy-to-understand graph, chart or table	
	Week 10	Pecha-Kucha Presentation PowerPoint Design Principle 3	Design slides with lots of contrast and clear focal point	
	Week 11	Pecha-Kucha Presentation PowerPoint Design Principle 4 & 5	Design balanced slides with lots of white space and harmony	
	Week 12	Pecha-Kucha Presentation – Note Cards & Delivery Skills Workshop	Draft note cards with key words only; Review physical skills	
	Week 13	Pecha-Kucha Presentation	Deliver an effective presentation	
	Week 14	Summer Internship Presentation Preparation	Research; Create slides that adhere to the 5 PowerPoint design principles	
	—			—
	Week 15	Self-evaluation / Internship Pres.	Practice speaking out loud alone then in a small group, using good posture, eye contact, voice projection and inflection	
2nd Semester	**Week 16**	International Gaming Poster Presentation – Designing Posters Intro	Be acquainted with the elements of good poster design: Layout, Visuals, Fonts, Color; Choose appropriate, interesting game	
	Week 17	International Gaming Poster	Include some of: Game description, Rating, Goal, Walk- through or FAQs, Controls, Tips, Cheats, Evolution of Game	
	Week 18	International Gaming Poster	Include remainder of: Game description, Rating, Goal, Walk-through or FAQs, Controls, Tips, Cheats, Evolution of Game	
	Week 19	International Gaming Poster	Make a Poster that adheres to the same 5 PowerPoint Design Principles and apply them to a poster (layout, visuals, etc.)	
	Week 20	Int'l. Gaming Poster Presentation	Draft note cards; Practice speaking out loud, then in a small group, w/ good posture, eye contact, voice projection/inflection	
	Week 21	Attend or Present at the 2nd Annual Int'l. Gaming Conf. Poster Session	Attend or deliver presentation multiple times using good posture, eye contact, voice inflection and projection	
	Week 22	Attend or Present at the 2nd Annual Int'l. Gaming Conf. Poster Session	Attend or deliver presentation multiple times using good posture, eye contact, voice inflection/projection	
	Week 23	Technology & Art Presentation	Introduction to assignment; Discuss, research and choose topic	
	—			—
	Week 24	Technology & Art Presentation	Turn in research; Make slide outline	
	Week 25	Technology & Art Presentation	Create slides that adhere to the 5 Power Point design principles	
	Week 26	Technology & Art Presentation	Create slides that adhere to the 5 Power Point design principles	
	Week 27	Technology & Art Presentation	Create slides that adhere to the 5 PowerPoint design principles	
	Week 28	Technology & Art Presentation	Create slides that adhere to the 5 PowerPoint design principles	
	Week 29	Technology & Art Presentation Delivery Skills Workshop	Draft Note Cards; Review effective physical skills; Rehearse out loud alone then in a small group	
	Week 30	Technology & Art Presentations	Deliver PowerPoint Presentation using good posture, eye contact, voice inflection/projection	
	—			—
	Week 31	Self-evaluation/Closing	Make-up presentations; Questionnaire	

Check (Self-Evaluation) : I understand well. ← A B C D E → I don't understand at all.

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
電気電子工学Ⅱ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修　2	前・後	石黒泰治

科目概要

国際コミュニケーション情報工学科の学生が電気電子工学の基礎を学ぶことにより、情報系技術者として幅広い素養を身につけさせる。
　具体的には、直流理論、交流理論で電気工学の基礎を学び、半導体素子、アナログ回路、デジタル回路で電子工学、ハードウエアの基礎を習得する。

キーワード：　直流回路、交流回路、静電気、電磁気、電子回路、デジタル回路

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「精選電気基礎」新訂版　桂井誠、岩本洋　実教出版 ②　「電子技術」新訂版　岩本洋、実教出版		科目：電気電子工学科　Ⅰ 資格：

評価方法

評価項目	%	
期末試験	４０	期末試験、中間試験を中心に理解度を判定するが、学期末には授業態度、リポート提出など総合的に評価する。
中間試験	４０	
授業態度	１０	
リポート	１０	
合計	１００	

受講上のアドバイス

この科目は、電気系、電子系、情報系技術者が基礎的な素養として、修得しなければならない、教科である。
授業中にしっかり理解し、分からないところは質問し、授業時間中に解決していくことが重要である。

関連する本校の学習・教育目標	Ｅ、Ｂ
問い合わせ・質問先	1階教員室（宮野）

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	電気回路の電流と電圧	電流と電子、オームの法則を理解する	
	第２週	電気回路の計算　Ⅰ	基礎的な直流回路の計算ができる。	
	第３週	電気回路の計算　Ⅱ	キルヒホッフの法則を使って回路計算ができる。	
	第４週	電気回路の計算　Ⅲ	複雑な直流回路の計算ができる。	
	第５週	抵抗の性質	導体の抵抗の性質や形状、温度による変化を理解する。	
	第６週	消費電力と発生電力	電力の概念とそれによる熱の発生について理解する。	
	第７週	磁石とクーロン法則	磁気のクーロンの法則、磁界について理解する。	
	第８週	電流による磁界	電流と磁界について理解する。	
	－	**前期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	電荷と電界	クーロンの法則、電界について理解する。	
	第１０週	コンデンサの計算　Ⅰ	コンデンサの考え方が理解できる。	
	第１１週	コンデンサの計算　Ⅱ	コンデンサの計算ができる。	
	第１２週	正弦波交流	周波数、位相、実効値について理解する。	
	第１３週	交流のベクトル表示	交流のベクトル表示、交流の和、差について理解する。	
	第１４週	Ｒ、Ｌ、Ｃの各種回路	Ｒ、Ｌ、Ｃ単独の回路のベクトル表示	
	－	**前期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検		
後学期	第１６週	Ｒ－Ｌ－Ｃ直列回路　Ⅰ	Ｒ－Ｌ－Ｃ直列回路が理解でき、基本的な計算ができる。	
	第１７週	Ｒ－Ｌ－Ｃ直列回路　Ⅱ	同	
	第１８週	Ｒ－Ｌ－Ｃ並列回路	Ｒ－Ｌ－Ｃの並列回路の基本的な考え方が理解できる。	
	第１９週	複素数によるベクトル表示	交流は複素数で表示できることが理解できる。	
	第２０週	複素数による交流回路の計算	交流回路の複素数による計算が理解できる。	
	第２１週	半導体素子	真性半導体、不純物半導体について理解する。	
	第２２週	トランジスタ	トランジスタ増幅回路について理解する。	
	第２３週	デジタル回路　Ⅰ	論理素子について理解する。	
	－	**後期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	同	同	
	第２５週	デジタル回路　Ⅱ	簡単な論理回路について理解する。	
	第２６週	同	同	
	第２７週	パルス回路　Ⅰ	パルスの発生について理解する。	
	第２８週	パルス回路　Ⅱ	マルチバイブレータについて理解する。	
	第２９週	同	同	
	第３０週	波形整形回路	各種波形整形回路について理解する	
	－	**学年末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価		

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

Learning Support Plan（2012）

Course			Class
General English Skills II -- Extensive Reading			Global Information Technology- 4th Year
Required or Elective	**Credits**	**Semesters**	Instructor **担当教員**
Elective	2	1 & 2	Le Nhung

Course Overview

In this class, you will read a lot of easy, enjoyable books. You get to choose what you want to read from a selection of hundreds of book at your level. The focus will be on reading for pleasure and general understanding. You will read to build speed and reading fluency, as well as for language development in all skills (reading, writing, listening and speaking) and for vocabulary enrichment.
To help create more independent readers and develop the habit of reading, you will be required to do some of the reading at home in order to meet the reading goals. You will have Sustained Silent Reading (SSR) time in every class though, much of class time will be spent on in-class fluency tasks based on the book you just finished reading.

Keywords：Extensive Reading

Textbook	Reference Materials	Related Subjects & Qualification Tests
N/A	①Penguin Graded Readers: Easy Starts, Level 1, Level 2, Level 3; Foundations Graded Readers; Scholastics Graded Readers; Graded Readers collection at KIT	Subjects：Literacy Qualification Tests：

Evaluation Method

Evaluation Percentage	%	
Number of books read	50	There are no tests. The single most important factor in the grade is the number of books read. The goal is one book per week. Students will keep a weekly Reading Log to keep track of the books they have read, the number of books and the level at which they are reading. After finishing a book, students will respond to the book in a variety of follow-up assignments. In-class fluency tasks give students a chance to share what they've read. Class Participation: speaking/active listening, attitude and effort, as well as attendance
In-class Follow-up tasks	25	
Participation/ Effort/Attitude/ Attendance	25	
Total	**100**	

Advice from Instructor to Students for Class

- Most every class will have with a 20-minute Sustained Silent Reading block so please come to class on time so you do not to disrupt quiet reading time.
- Bring a Reading Notebook (binder) and pencil.
- Don't bring a dictionary, just skip over words you don't know and focus on general understanding so you don't slow down your reading.
- If you are not enjoying a book, stop reading it and choose another one.
- Read a variety of books from different genres -- even ones you don't usually read.
- Take the summer vacation and winter vacation reading challenges.
- Take the year-long reading challenge.

Course Objectives	C
Office	KTC 31-103

Class No. _____ Name _____

	Week	Contents	Achievement Goals	Check
1st Semester	Week 1	Orientation; Introduction to Extensive Reading and ER Library; How to choose books	Review syllabus; Intro to ER; Learn to use the library and Weekly Reading Log; Find your reading level; Choose book (look at pictures/read blurb); SSR	
	Week 2	How to Record & Rate Books; Reading Reflection & Extension	Heroes and Villains; Record book in Weekly Reading Log; Rate book; Choose a new book; SSR	
	Week 3	Reading reflection & extension Vacation reading (Extra Credit)	Genre & Setting; Record and rate book; Choose new book; SSR; Choose book(s) & Reaction Report for Vacation	
	Week 4	Reading reflection & extension	Climax and Resolution; SSR	
	Week 5	Reading reflection & extension	Penguinville Board Game, SSR	
	Week 6	Reading reflection & extension	Bookmark, SSR	
	Week 7	Reading reflection & extension	Bookrack Signs, SSR	
	Week 8	Reading reflection & extension	Instant Book Report, SSR	
	–			–
	Week 9	Reading reflection & extension	The Best Part, SSR	
	Week 10	Reading reflection & extension	The Best Character, SSR	
	Week 11	Reading reflection & extension	Picture Questions, SSR	
	Week 12	Reading reflection & extension	Character Map, SSR	
	Week 13	Welcome Back	Collect Summer Reading Challenge Extension Activity Reports, SSR	
	Week 14	Reading reflection & extension	Challenge Results-Award Prizes; Toothpick Storytelling, SSR	
	–			–
	Week 15	Self-evaluation	Share Favorite Books	
2nd Semester	Week 16	Reading reflection & extension	Change the Ending, SSR	
	Week 17	Reading reflection & extension	Life's Up's and Down's, SSR	
	Week 18	Reading reflection & extension	Movie Poster, SSR	
	Week 19	Reading reflection & extension	Change the Genre to Horror-Halloween, Horror Stories	
	Week 20	Reading reflection & extension	New Vocabulary, SSR	
	Week 21	Reading reflection & extension	Dramatic Reading, SSR	
	Week 22	Reading reflection & extension	Nice to Meet You!, SSR	
	Week 23	Reading reflection & extension	New Vocabulary, SSR	
	–			–
	Week 24	Reading reflection & extension	Christmas Gifts, SSR	
	Week 25	Reading reflection & extension	Collect Winter Reading Challenge Extension Activity Reports, SSR	
	Week 26	Reading reflection & extension	Challenge Results-Award Prizes; The Story & You, SSR	
	Week 27	Reading reflection & extension	Character Descriptions - Synonyms, SSR	
	Week 28	Reading reflection & extension	What Comes Next?, SSR	
	Week 29	Reading reflection & extension	Read with a Partner, SSR	
	Week 30	Reading reflection & extension	Match the Blurb-Book, SSR	
	–			–
	Week 31	Self-evaluation/Closing	Questionnaire, Talk about Favorite Books, Reading Level 50 Book Challenge-Award Prizes	

Check (Self-Evaluation) : I understand well. ← A B C D E → I don't understand at all.

Learning Support Plan（2012）

Course			Class
General English Skills II (Pop Culture)			Global Information Technology 4th year
Required or Elective	**Credits**	**Semesters**	Instructor **担当教員**
Elective	履修 2	1 & 2	Nathan Lurie

Course Overview

We will use popular youth culture (magazine articles, music, film, TV, computer games, internet articles, etc.) as a springboard from which to explore the English language that students want to learn and are exposed to outside of school, thus bridging the gap between formal and informal English-language learning. We will read popular culture articles that students can relate to and find interesting and then interact with each other to exchange opinions and ideas. We will learn lyrics to songs students have already encountered. We will learn lines to movies, TV programs and video games that students love to watch and play. The goal will be to become responsive, active and engaged learners of English while improving cultural literacy.

Keywords：Popular culture in the EFL classroom

Textbook	**Reference Materials**	**Related Subjects & Qualification Tests**
①Year-long subscription to *Crown Magazine*, Scholastic Mary Glasgow, London	①Mary Glasgow's on-line support (video, audio, interactive language games & activities); A source bank of pop culture materials	Subjects： Qualification Tests：

Evaluation Method

Evaluation Percentage	**%**
Class work	50
Projects	20
Participation	30
Total	**100**

- In-class work:
  magazine article work
  oral skills activities
- Cooperative group-work Projects (projects graded using rubrics)
- Daily Class Participation:
  active speaking/listening
  attitude
  effort
  attendance
  classroom language & questions

Advice from Instructor to Students for Class

- Come to class on time with your binder and pencil
- Say hello and good-bye every class
- Ask lots of questions
- Don't worry about making mistakes, just talk.
- Don't be shy
- Relax, have fun and smile!
- Be kind and friendly to everyone in class
- Be responsible for making up missed work and finishing assignments
- Take advantage of the vast amount of pop culture that is available to you outside of school (on the Internet, TV, films, radio, etc.)

Course Objectives	C
Office	KTC 31-103

Class No. _____ Name _____

	Week	Contents	Achievement Goals	Check
1st Semester	**Week 1**	Introduction to course	Understanding syllabus, grading policy, Getting to know each other	
	Week 2	*The Simpsons*, TV program	Background information on Characters; Pre-, during- and post-viewing activities; Repeated viewings of accessible clips	
	Week 3	*The Simpsons*, TV program	Pre-, during- and post-viewing activities; Repeated viewings of accessible clips	
	Week 4	*The Simpsons* Video Game	Play the game for listening practice	
	Week 5	Popular Culture Magazine Article, March 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 6	Popular Culture Magazine Article, March 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 7	Popular Culture Song	Pre-listening/While-listening/Post-listening activities	
	Week 8	Popular Culture Song	Pre-listening/While-listening/Post-listening activities	
	—			—
	Week 9	Popular Culture Magazine Article, May 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 10	Popular Culture Magazine Article, May 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 11	Review Project	Choose group and topic, preparation, practice	
	Week 12	Review Project	Practice and present project to class	
	Week 13	Welcome Back – Summertime Popular Culture	What's hot this summer? A look at summer film, fashion & fads	
	Week 14	Summertime Popular Culture	What's hot this summer? A look at summer film, fashion & fads	
	—			—
	Week 15	Self-evaluation	Review games/activities	
2nd Semester	**Week 16**	Popular Culture Magazine Article, September 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 17	Popular Culture Magazine Article, September 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 18	Popular Culture Magazine Article, September 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 19	Popular Culture Song	Pre-listening/While-listening/Post-listening activities	
	Week 20	Popular Culture Song	Pre-listening/While-listening/Post-listening activities	
	Week 21	Popular Culture Magazine Article, November 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 22	Popular Culture Magazine Article, November 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 23	Popular Culture Christmas Songs	Pre-, While-, & Post-listening songs from *Arthur Christmas*	
	—			—
	Week 24	Popular Culture Film— (Ex.: *Arthur Christmas*)	View film & post-viewing activities	
	Week 25	Welcome Back	2012 Year in Review – Classroom Jeopardy! Game	
	Week 26	Popular Culture Magazine Article, January 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 27	Popular Culture Magazine Article, January 2012 Issue	Pre-reading/While-reading activities; Post-reading discussion	
	Week 28	Project	Choose group and topic, preparation	
	Week 29	Project	Project preparation, practice	
	Week 30	Project	Project presentations	
	—			—
	Week 31	Self-evaluation/Closing	Questionnaire, make-up presentations	

Check (Self-Evaluation) : I understand well. ← A B C D E → I don't understand at all.

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
インターンシップ			グローバル情報工学科　４年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
選択	履修２	夏期集中	館　宜伸

科目概要

夏期休業中に約２週間、県内外の企業で実習を行い、社会の厳しさや専門技術の発展ぶりなど、学校教育では得られない貴重な知識や考え方を、体験を通じて学ぶ。この体験は、将来社会人となるために極めて有用であり、また専門のエンジニアとして成長する糧となるものである。インターンシップ先での貴重な体験を報告書にまとめ提出するとともに、報告会において、その成果を発表する。

キーワード：　インターンシップ、企業

教科書	参考書	関連する科目・資格
なし	①　企業のパンフレットなど ②　各専門科目の教科書や参考書	科目：キャリアデザイン 資格：なし

評価方法

評価項目	%
企業での評価	５０
報告書・報告会	５０
合計	１００

企業での評価書に記載の評価を５０%、構内での報告書・インターンシップ報告会による評価を５０%とした割合で総合評価を行う。

受講上のアドバイス

①　実習はアルバイトではない。逆に企業の大きな負担になっていること、企業の好意で実習をさせてもらっていることを忘れないこと。
②　遅刻は厳禁である。礼儀正しく行動すること。

関連する本校の学習・教育目標	A，C
問い合わせ・質問先	２階２０５室（地域連携教育センター）

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第 １ 週	研修先企業等との調整による。	体験により企業活動の概要を習得する。	
	第 ２ 週	以下空欄	以下空欄	
	第 ３ 週			
	第 ４ 週			
	第 ５ 週			
	第 ６ 週			
	第 ７ 週			
	第 ８ 週			
	－	前学期中間試験	（試験）	－
	第 ９ 週			
	第１０週			
	第１１週			
	第１２週			
	第１３週			
	第１４週			
	－	前学期末試験	（試験）	－
	第１５週	自己点検		
後学期	第１６週			
	第１７週			
	第１８週			
	第１９週			
	第２０週			
	第２１週			
	第２２週			
	第２３週			
	－	後学期中間試験	（試験）	－
	第２４週			
	第２５週			
	第２６週			
	第２７週			
	第２８週			
	第２９週			
	第３０週			
	－	後学期末試験	（試験）	－
	第３１週	自己点検自己評価		

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２４年度　学習支援計画書

科目名			クラス
ビジネスシステム			グローバル情報工学科　４年（ＯＰ留学者対象）
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**担当教員**
必修	学修　2	前・後	館　宜伸

科目概要

システムを運営するために必要なネットワークの知識と、サーバサイドプログラミングの基礎を習得する。
前期はWebシステムに関する基礎を個人演習で学び、後期はグループ演習でWebシステムの運営について学習・体験する。

キーワード：　ネットワーク，クライアント・サーバ，Java言語，Eclipse，HTML，Webページ

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「これからはじめる すぐにわかるサーブレット&JSP入門」，川崎克巳，秀和システム	②　「Java言語プログラミングレッスン上」，結城浩，SoftBank Creative	科目：コンピュータ演習Ｉ，情報処理Ｉ 資格：ＩＴパスポート、基本情報技術者試験

評価方法

評価項目	%
定期試験	５０
課題・宿題	３０
報告書	２０
合計	１００

「報告書」は、作成したプログラムをどのように考えて作ったかなどの説明がきちんとできているか、なぜうまくできたのか（うまくできなかったのか）ということの考察ができているか、論理的に文章を書けているかなどを評価する。
なお、欠課１回（５０分）につき２点減点、遅刻１回につき１点減点とする。
また、授業を受ける上で必要な資料を忘れた場合も１点減点とする。

受講上のアドバイス

本授業は学修の単位であるため、１週間の授業に対して２時間分の課題や宿題が毎回出される。この課題や宿題を提出しない場合は、単位が認められない。

演習中や課題に取り組んでいる最中に発生したトラブルは、不具合対処の良い経験になります。なぜトラブルが発生したのか、何が原因なのかを自分で調査・発見できるように試みてください。また、原因分析やトラブル解消方法などが判明したら、発生内容とともに記録しておきましょう。
なお、受講上の留意点を以下に示します。これらは必ず守ってください。

１．時間内にできない場合は、放課後などに補習を申し出ること
２．報告書などの提出物の期限を守ること

関連する本校の学習・教育目標	Ｅ，Ｂ
問い合わせ・質問先	２階２０７室

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日程		授業項目	到達目標または行動目標	点検
前学期	第１週	ガイダンス・ネットワーク基礎	授業の目的を理解し、ネットワークについて理解できる	
	第２週	インターネットとプロトコル	プロトコルやサーバの役割を理解できる	
	第３週	インストール	インストールと各種設定ができる	
	第４週	HTML演習	基本的なHTMLタグを用いてWebページが作成できる	
	第５週			
	第６週	HTML課題（設計）	Webページの設計ができる	
	第７週	HTML課題（制作）	設計したWebページを制作できる	
	第８週	HTML課題発表	自分が制作したWebページを説明できる	
	－	**前学期中間試験**	**（試験）**	－
	第９週	サーバサイドプログラミング概要	サーバサイドプログラムを理解できる	
	第１０週	Web演習（導入）	既存システムの導入でき、仕組みを理解できる	
	第１１週			
	第１２週	Web演習（変更）	既存システムを変更できる	
	第１３週	Web課題（設計）	動的なWebページを設計できる	
	第１４週	Web課題（制作）	設計した動的なWebページを制作できる	
	－	**前学期末試験**	**（試験）**	－
	第１５週	自己点検	制作作品発表、および、自己点検	
後学期	第１６週	Webシステムの基礎	Webシステムの基礎を理解できる	
	第１７週	Webシステム課題（企画）	Webシステムをグループで企画することができる	
	第１８週	Webシステム課題（設計）	グループで企画したWebシステムを設計できる	
	第１９週	Webシステム課題（制作）	グループで設計したWebシステムを制作できる	
	第２０週			
	第２１週			
	第２２週			
	第２３週	中間発表	制作したWebシステムを説明できる	
	－	**後学期中間試験**	**（試験）**	－
	第２４週	Webシステム課題（検討・改良）	改良点、反省点をWebシステムへ反映できる	
	第２５週			
	第２６週	Webシステム課題（運営）	運営マニュアルを作成できる	
	第２７週	Webシステム課題発表	制作したWebシステムを説明できる	
	第２８週	Webシステム引継	制作したWebシステムを引き継ぐことができる	
	第２９週	Webシステム運営	引き継いだシステムを運用できる	
	第３０週	Webシステムのトラブル対応	制作したWebシステムのトラブル対応ができる	
	－	**後学期末試験**	**（試験）**	－
	第３１週	自己点検自己評価	報告書作成、および、自己点検	

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

Learning Support Plan（2012）

Course			Class
Data Processing III – OP			Global Information Technology 4th year
Required or Elective	**Credits**	**Semesters**	Instructor **担当教員**
Required	履修 2	1 & 2	Robert Songer, Omihito Matsushita

Course Overview

In the first three years at KTC, students have primarily become used to the operation of a graphical user interface (GUI) in operating systems such as Microsoft Windows. However, many complex web servers and networking devices require operators to have skill with a command line interface (CUI) such as those found in Unix operating systems. This course will focus on the acquisition and practice of the basic knowledge required of an entry-level Unix operator for using a Unix CUI. Material will be presented in English with Japanese support and an emphasis on effective self-study.

Keywords： Unix, Command Line, Operating Systems, Technical English

Textbook	Reference Materials	Related Subjects & Qualification Tests
① *Introduction to the Command Line: The Fat-Free Guide to Unix and Linux Commands* Nicholas Marsh Createspace	Handouts & Activities	Subjects： 情報システムIII Qualification Tests： LPIC試験 基本情報技術者試験

Evaluation Method

Evaluation Percentage	%
Periodic Exams	50
Homework	40
Attitude & Attendance	10
Total	**100**

Students will be graded on semester midterm and final exams, weekly homework assignments and participation in class.

The periodic exams will be based on textbook material and technical English from the homework assignments.

Homework assignments will be given each week to satisfy the required 1 hour of study time outside of class. These assignments will be based on reading from the book from which students select important English words and phrases. Students are expected to complete the assignments before class to prepare themselves for the next lesson.

Participation will be evaluated according to attendance record and an attitude assessment from the teachers.

Advice from Instructor to Students for Class

Please bring your materials to class every day. The materials you will need are:

1. A folder to carry papers
2. This syllabus for doing the self-check each week
3. Your textbook
4. Paper and a pencil for taking notes about English words
5. Dictionary (either electronic or online)

Don’t be afraid to ask questions during class. Ask lots of questions. A big part of learning is asking questions and finding the answers. Try to understand the English in different ways until you find one that works the best for you.

Most importantly, when you miss a class please see the teacher for the work you missed before the next class. You are responsible for completing all the work, not the teacher. So you are responsible for seeing the teacher when you are absent.

Course Objectives	E、B
Office	KTC 31-209

Class No. _____ Name _____

	Week	Contents	Achievement Goals	Check
1st Semester	Week1	Course Introduction	Get to know the syllabus, your teacher, and your learning style	
	Week2	Introduction to Unix	Understand the basic traits of Unix operating systems	
	Week3	Command Line Basics	Learn the basics of operating a CUI, such as navigating the directory structure.	
	Week4			
	Week5	Advanced Shell Commands	Study advanced commands for the shell window. Prepare and present a mini lesson on a command of your choice.	
	Week6			
	Week7			
	Week8	Review	Review the commands so far and prepare for the midterm exam.	
	—	**1st Semester Midterm**	**Exam**	—
	Week9	Text Editing and Extraction	Learn about the different text editors and how to use them. Practice creating and manipulating documents.	
	Week10			
	Week11			
	Week12	Printing Commands	Practice printing documents using various commands.	
	Week13			
	Week14	Review	Review the commands so far and prepare for the midterm exam.	
	—	**1st Semester Final**	**Exam**	—
	Week15	Self-evaluation	Understand your weak points from the 1st semester material.	
2nd Semester	Week16	User Accounts and Groups	Understand the roles of user accounts and groups in an OS.	
	Week17	File and Directory Permissions	Learn how to control the security of files and directories with commands related to user permissions.	
	Week18			
	Week19			
	Week20	Process Control and Scheduling	Discover how to control running programs and manage the scheduling of tasks. Prepare and present a mini lesson on a command of your choice.	
	Week21			
	Week22			
	Week23	Review	Review the commands so far and prepare for the midterm exam.	
	—	**2nd Semester Midterm**	**Exam**	—
	Week24	Shell Scripts	Understand the basics of writing a script to execute a series of commands. Practice making scripts to run multiple commands at once.	
	Week25			
	Week26	Additional Topics	Explore additional commands from the book. Choose extra topics to learn about and teach to the class.	
	Week27			
	Week28	Original Script	Write an original script that shows the usefulness of your chosen commands. Present the script to the class and quiz them on it.	
	Week29			
	Week30	Review	Review the commands so far and prepare for the midterm exam.	
	—	**2nd Semester Final**	**Exam**	—
	Week31	Self-evaluation/Closing	Understand your weak points from the class and do a final evaluation	

Check (Self-Evaluation) : I understand well. ← A B C D E → I don't understand at all.